第3回熊谷市荒川かわまちづくり協議会　次第

日　時　令和６年12月17日(火)
13:30～15:30
場　所　熊谷市立文化センター文化会館　第一練習室

１ はじめに、開　会

２ 議　　事

（１）報告事項　　資料１

１）第２回熊谷市荒川かわまちづくり協議会の振り返り

２）第２回、第３回熊谷市荒川かわまちづくりワークショップの開催概要

３）社会実験の開催概要

（２）審議・質疑・意見交換　　資料２

１）論点３　ゾーン・主要機能配置（案）

２）論点４　活動の展開（ハード・ソフト施策）（案）

３）論点４　市民・行政協働のかわまちづくり活動（案）

４）かわまちづくり申請書（案）

５）その他　自由意見

３ 今後の進め方、おわりに、閉　会　　資料３

【配布資料】
・次第
・第３回熊谷市荒川かわまちづくり協議会出席者名簿／座席表
・資料１　第２回熊谷市荒川かわまちづくり協議会議事要旨
　　第２回、第３回荒川かわまちづくりワークショップ開催概要
　　社会実験の開催概要
・資料２　熊谷市荒川かわまちづくり計画（案）
・資料３　今後の進め方について（スケジュール、次回協議会について）

別紙
・別紙１　第２回協議会意見反映結果
・別紙２　関係者ヒアリング・協議会・ワークショップ意見反映結果まとめ表
・別紙３　市民・行政協働の活動（案）

以上

第3回熊谷市荒川かわまちづくり協議会 出席者名簿(令和６年12月17日) 11名

役職名	区　分		氏　名	所属	出席
会長	学識経験者		田中（たなか）　規夫（のりお）	埼玉大学大学院 理工学研究科 環境社会基盤専攻 (兼)社会変革研究センター レジリエント社会研究部門	○
委員	地区を代表する者		野口（のぐち）　幸雄（ゆきお）	荒川自治会連合会	○
委員	関係団体を代表する者	商工産業	岡部（おかべ）　聡史（さとし）	熊谷商工会議所	○
委員			大澤（おおさわ）　重明（しげあき）	一般社団法人　熊谷青年会議所	○
委員		スポーツ振興	赤沼（あかぬま）　昇（のぼる）	公益財団法人　熊谷市スポーツ協会	○
委員		観光振興	野口（のぐち）　一都（かずと）	一般社団法人　熊谷市観光協会	○
委員		教育	小川（おがわ）　義人（よしひと）	熊谷市立桜木小学校	○
委員		福祉 子育て	髙橋（たかはし）　美香（みか）	熊谷市障害者団体連絡協議会	－
委員			大﨑（おおさき）　幸恵（さちえ）	NPO 法人　子育てネットくまがや	○
委員		環境	須永（すなが）　伊知郎（いちろう）	公益財団法人 埼玉県生態系保護協会	○
委員			栗原（くりはら）　毅（たかし）	NPO 法人 熊谷の環境を考える連絡協議会	○
副会長	市職員		山下（やました）　克己（かつみ）	熊谷市　建設部	○

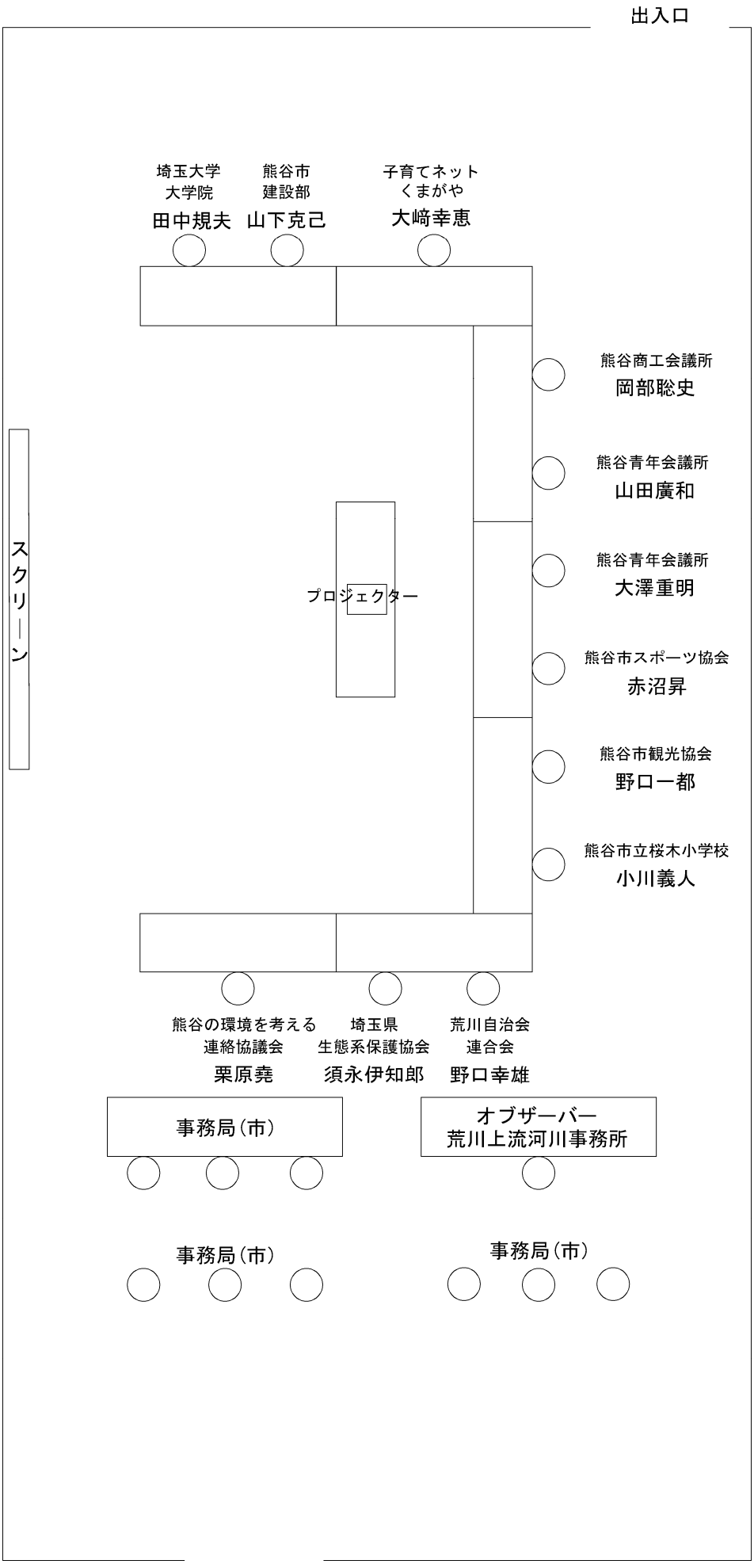
【事務局】

熊谷市　建設部河川課
都市整備部都市計画課
都市整備部公園緑地課
産業振興部商業観光課
総合政策部スポーツタウン推進課

【オブザーバー】

荒川上流河川事務所　流域治水課
河川環境課

座席表


出入口
埼玉大学
大学院
田中規夫
熊谷市
建設部
山下克己
子育てネット
くまがや
大﨑幸恵
熊谷商工会議所
岡部聡史
熊谷青年会議所
山田廣和
熊谷青年会議所
大澤重明
熊谷市スポーツ協会
赤沼昇
熊谷市観光協会
野口一都
熊谷市立桜木小学校
小川義人
スクリーン
プロジェクター
熊谷の環境を考える
連絡協議会
栗原堯
埼玉県
生態系保護協会
須永伊知郎
荒川自治会
連合会
野口幸雄
事務局(市)
オブザーバー
荒川上流河川事務所
事務局(市)
事務局(市)

資料１

第 2 回熊谷市荒川かわまちづくり協議会　議事録

（要点筆記）

●日　　時：令和 6 年 8 月 8 日(木)　13 時 30 分から 15 時 30 分まで

●場　　所：熊谷市立文化センター文化会館　第一練習室

●次　　第：1. はじめに、開会、挨拶、出席者紹介
2. 議事(1)　(1)第 1 回熊谷市荒川かわまちづくり協議会の振り返り
(2)第 1 回熊谷市荒川かわまちづくりワークショップにおける開催概要
(3)事例紹介　千代田地区かわまちづくり
3. 議事(2)　(1)論点 1・2　かわまちづくりの目標・方針(案)、計画対象区域(案)
(2)論点 3　ゾーン・主要機能配置(事務局案)
(3)論点 4　活動の展開(ハード・ソフト施策)（事務局案)
(4)社会実験企画(事務局案)
(5)その他　質疑・意見交換
4. おわりに、閉会、今後の進め方について

●出席者：(出席委員）田中規夫会長、山下克己副会長、大澤重明委員、赤沼昇委員、
小川義人委員、高橋美香委員、大﨑幸恵委員、須永伊知郎委員
（欠席委員）岡部聡史委員、野口幸雄委員、野口一都委員、栗原堯委員

（事務局）熊谷市　建設部河川課
都市整備部公園緑地課
産業振興部商業観光課
総合政策部スポーツタウン推進課
（オブザーバー）荒川上流河川事務所　河川環境課

●資　料：次第
委員名簿/座席表
資料 1　第 1 回熊谷市荒川かわまちづくり協議会　議事録
資料 2　第 2 回熊谷市荒川かわまちづくり協議会　審議・質疑・意見交換
資料 3　熊谷市荒川かわまちづくり計画　想定作業スケジュール(イメージ)

1. はじめに、開会、挨拶、出席者紹介	
事務局	・開会の挨拶。
2. 議事(1)　(1)第 1 回熊谷市荒川かわまちづくり協議会の振り返り	
事務局	・資料 1 を基に、第 1 回熊谷市荒川かわまちづくり協議会の振り返りについて説明した。
(2)第 1 回熊谷市荒川かわまちづくりワークショップにおける開催概要	
事務局	・資料 1 を基に、第 1 回熊谷市荒川かわまちづくりワークショップにおける開催概要について説明した。
【質問】	
委員	・出席者 25 名の内男女比と年齢層を教えていただきたい。
事務局	・男性が 17 名、女性が 8 名参加していた。 ・年齢はばらつきがあり、最も高齢な方が 80 歳（男性）、最も若い方が 28 歳（男性）である。
(3)事例紹介　千代田地区かわまちづくり	
事務局	・資料 2 を基に、千代田地区かわまちづくりについて説明した。
3. 議事(2)　(1)論点 1・2　かわまちづくりの目標・方針(案)、計画対象区域(案)	
事務局	・資料 2 を基に、論点 1・2　かわまちづくりの目標・方針(案)、計画対象区域(案)について説明した。
【論点 1】	
委員	・整備方針 1-1 に「子供」を明記したことはとても良い。多様な世代だけでなく、体に不自由を抱える人も含むことを明記するため、「子供から大人まで多様な世代の人」を、「子供から大人まで多様な人」に変更してはどうか。
事務局	・「子供から大人まで多様な人」に変更する。
(2)論点 3　ゾーン・主要機能配置(事務局案)	
事務局	・資料 2 を基に、論点 3　ゾーン・主要機能配置(事務局案)について説明した。
【論点-3】	
委員	・前回の協議会を踏まえて、整備方針 1-3 に自然環境の保全・継承に、「創出」も追加したことは、ネイチャーポジティブを実現する観点からとても良い。 ・「荒川河川敷の保全と利用のあり方」により、荒川大橋下流左岸の「荒川緑地」の中で 8 割が利用、2 割が自然としなければいけないが、現

	在、2 割の自然が確保できているかが疑問の状況である。事務局案の自然環境保全ゾーンに加え、スポーツ健康文化交流ゾーン内にも自然環境保全・環境学習ゾーンを一部重ね、自然環境を「創出」する計画としてほしい。追加する場所は、現況坂路の下流の荒川緑地エリア内が良いと考える。 ・また、計画対象エリア内のコアエリアを下流の「元荒川の源流ムサシトミヨ保護センター付近まで」を含む範囲に広げ、市民が学習できる場として一体的に上手く活用できると良い。
事務局	・自然環境保全ゾーンの配置について、緑地内の自然環境を「創出」することを考慮し、今後検討する。 ・計画対象エリアのコアエリアの範囲について、「ムサシトミヨ保護センター付近まで」のエリア拡大について今後検討する。
会長	・自然環境の保全について、荒川の澪筋は変化が少なく維持されており、護岸沿いの流路は近づきすぎると危ないが、荒川大橋の上流側は自然環境を保全する場所としてとても良い場所だと考えている。事務局案の自然環境保全・環境学習ゾーンの配置についてはいかがか。
委員	・荒川大橋の上流側は、ワンドが形成され、生き物と触れ合える場所として良い場所だと思う。それだけではなく、先程述べた「荒川緑地」内の自然環境の創出も計画に位置付けてほしい。カワラナデシコやオミナエシ等の絶滅に瀕した熊谷の在来植物や昆虫が見られる草地環境を、「創出」してほしい。
委員	・ムサシトミヨ(元荒川源流)まで範囲を広げることは、賛成である。 ・将来構想エリアに久下橋周辺まで含む計画となっている。周辺には幻の村　新川村があり、ワンデーキャンプが実施されており、将来構想には新川村を含む範囲となると良い。 ・堤防天端をウォーキングしている人が多いため、利用者向けに距離標などの案内板が整備されると良い。
事務局	・ヒアリングでもウォーキングに関する意見が出ているため、ウォーキング利用者を対象とした案内表示について検討する。
副会長	・スポーツ健康文化交流ゾーン設定についてもう少しふくらませ、体育館を含むエリアとすると良い。
事務局	・体育館をスポーツ健康文化交流ゾーンに含める方向で検討する。
委員	・計画エリア周辺には、体育館だけでなく、図書館や文化センターが立地している。ピンク破線のアクセス軸が示す、駅から図書館、体育館、土堤（かわ）までのアクセスの充実を考慮すると良いのではないか。
事務局	・駅周辺の再開発事業と情報を共有して進めていきたい。
(3)論点 4　活動の展開(ハード・ソフト施策)（事務局案）	
事務局	・資料 2 を基に、論点 4　活動の展開(ハード・ソフト施策)（事務局案)について説明した。

【論点-4】	
委員	・荒川緑地再整備は駐車場までとなっているが、駐車場下流のエリアについては、空地となっているので、そこをターゲットとして、自然創出とすると良いのではないか。
事務局	・駐車場下流のエリアに自然環境を創出するエリアの追加を検討する。
委員	・スポーツ健康文化交流ゾーンでは、スポーツが整備内容としてあがっているが、学校でテント（キャンプ）泊を実施している。BBQ も整備内容に上がっているとのことなので、アウトドア系の民間サービスを誘致すると良いのではないか。 ・釣りや SUP のメニューは魅力があるが、学校では水難事故の懸念から、子供たちだけで水辺に近づかない様に指導している。どうすれば安全に川で遊べるようになるのか考える必要があるのではないか。 ・幼児（保育所）が遊びに来ていたりする。安全に遊べる空間整備が望ましい。 ・自然環境学習ゾーンについて、水辺の生き物調査など、小学校での学習を深められる場、どんな学習ができるか広報できる場となると良い。
事務局	・アウトドア施設については、現在は様々な協会が存在しているため、公園緑地課とも連携して検討を進めていく。 ・水辺利用に関しては、維持管理方面も含めて厳しい現状ではあるが、できる限り希望に沿った整備としていけるようにしたい。 ・自然学習については、環境学習に加えて危険を学ぶということも企画にとりこめれば良いと考えている。
会長	・河川の澪筋が護岸に寄っている場所で、水の流れが速く水深が深いことから水辺利用のスペースの確保が難しいことから、どのように安全性を確保しながら空間を確保することが今後の検討課題ではある。
【論点-4】	
委員	・安全に関し、治安面も含め検討してほしい。例えば、河川敷地や堤防上に、夜間の治安確保のための照明を整備することは可能か。
事務局	・福山市のかわまち整備では、ウォーキングコースを照らす連続照明が整備されていた。そのような事例も参考に検討していきたい。
会長	・貴重な意見をたくさんいただいたので、今後のワークショップ等に反映していきたい。
(4)社会実験企画(事務局案)	
事務局	・資料 2 を基に、社会実験企画(事務局案)について説明した。
副会長	・何か事業につなげられる社会実験で、提案等があれば後日メール等でも構わないので連絡をお願いしたい。

【社会実験】	
委員	・社会実験では、バリアフリー対策に加え、障害を持った方が来たいと思えるメニュー、楽しむことのできるメニューがあると良い。
事務局	・検討する。
委員	・社会実験企画案のメニューは、概ね賛同が得られると考える。社会実験の試行で地域意見を確認するという目的から、メニューには、地域意見が分かれるようなメニューもあると良いと考える。
会長	・頂いたご意見は、いずれも社会実験実施にあたり重要な視点である。企画案に考慮してはいかがか。
事務局	・ワークショップでは、地域意見が分かれる音楽イベント開催の意見もあった。頂いた意見を踏まえ、企画案を検討する。
4. おわりに、閉会、今後の進め方について	
事務局	・資料 3 を基に、今後の進め方について説明した。
オブザーバー	・閉会の挨拶。
事務局	・閉会の挨拶。
	以上

第２回熊谷市荒川かわまちづくりワークショップ　議事録

（要点筆記）

●日　　時：令和 6 年 8 月 31 日(土)　13 時 30 分から 16 時 30 分まで

●場　　所：熊谷市荒川公民館

●次　　第：1. チェック・イン（開会、挨拶 等）
2. 情報共有
3. ワークショップ（ワールド・カフェ）
1）本日の進め方
2）テーブルの検討テーマ
3）ワールド・カフェ：検討①
4）ワールド・カフェ：検討②
5）ワールド・カフェ：検討③
4. チェック・アウト（連絡事項、挨拶、閉会）

●出席者：（出席者）計 25 名
（欠席者）計 2 名
（アドバイザー）埼玉大学教授　田中 規夫
（事務局）熊谷市　建設部
建設部河川課
都市整備部公園緑地課
都市整備部都市計画課
総合政策部スポーツタウン推進課
（ファシリテーター）徳島大学客員教授　澤田 俊明

●資　料：プログラム（第２回)、ＷＳ参加者のみなさんへ
資料１ 第１回ワークショップ・ニュースレター
資料２ 情報共有 かわまちづくり協議会の検討状況（論点１～４、社会実験）
資料３ かわまちづくり計画と熊谷駅等とのつながり情報
資料４ 今後のスケジュール
別紙　関係者ヒアリング、協議会、ワークショップ意見まとめ
（別冊資料）※第１回ワークショップでの配布資料持参
情報共有１の資料：かわまちづくりの概要、熊谷市アンケート結果
情報共有２の資料：熊谷市「かわまちづくり」への意見、事前ヒアリングの結果

1. チェック・イン	
事務局	・開会の挨拶。
ファシリテーター	・アイスブレイク。
2. 情報共有	
事務局	・資料 1 をもとに、第 1 回ワークショップの振り返りを行った。
事務局	・資料 2 をもとに、かわまちづくり協議会の検討状況（論点１～４、社会実験）を説明した。
参加者	・資料 1 の p.10 に記載の堤防坂路の改良は、V 字型から I 字型へ変更するということで良いか。
事務局	・問題ない。現状の V 字型ではすれ違いができず、車同士の接触事故が起きていると聞いている。そのため、まっすぐな動線で検討している。
参加者	・シェルターが整備メニューに入っていないがどういうことか。
ファシリテーター	・後ほどワークショップの時間に検討いただきたい。
事務局	・資料 3 をもとに、かわまちづくり計画と熊谷駅等とのつながり情報を説明した。
参加者	・坂路の場所・形状は資料 3 に記載の A～C 案から検討するのか。
事務局	・事務局案であるため、決定ではない。ワークショップの中で別案についても検討いただきたい。
アドバイザー	・第 1 回ワークショップで出していただいた意見を第 1 回協議会で検討し、「子どもから大人まで」、「周辺まちづくり計画との連携」等を方針に追加した。また、活用アイデアのご意見を基に、整備メニューを具体化した。かわまちづくり計画に地域のニーズを反映するため、ワークショップのルールを守ったうえで、第 2 回ワークショップでも活発な議論をしていただきたい。また、いただいたご意見を反映して社会実験を実施し、その結果を受けて問題点を発見するなど、いい方向にこのかわまちづくり計画を進めていきたい。将来この計画が完成した時に皆様に思い入れを持っていただき、応援団として参加していただきたい。
3.ワークショップ	
	・テーブル 1 では、論点 2（範囲）、論点 3（ゾーニングと主要機能配置）、社会実験企画に関して意見をいただいた（①A 班：緑、②C 班：青、③B 班：黄色）。いただいた意見を表 1-1、1-2 に示す。 ・テーブル 2 では、論点 4（活動の展開）に関して意見をいただいた（①B 班：黄色、②A 班：緑、③C 班：青）。いただいた意見を表 2-1、2-2 に示す。 ・テーブル 3 では、かわまちづくり計画と熊谷駅等とのつながりに関して意見をいただいた（①C 班：青、②B 班：黄色、③A 班：緑）。いただいた意見を表 3-1、3-2 に示す。

テーブルファシリテーター/代表者	・テーブル毎にいただいた意見の読み上げを行った。
4. チェック・アウト	
アドバイザー	・テーブル 1 では、大麻生公園や万平公園、ムサシトミヨ保護センターなど、歴史や自然環境の視点から範囲を広げてほしいといったご意見や、動線の確保のご意見が印象に残った。 ・テーブル 2 では、バーベキューやウォータースポーツ、日陰などのご意見があった。そのうち、「水辺の安全との関連」と、「民間を含める等といった維持管理上の運営の仕組みづくり」といった視点が重要だと感じた。 ・テーブル 3 では、歩車分離のご意見や、渋滞対策のための駐車場の位置・数・形式、坂路の位置などのアクセスに関するご意見、荒川公園との関連についてのご意見が印象に残った。また、閑静な住宅街に悪い影響を与えずにどのように賑わいを創出するか（またはどのように閑静な状態を保つか）を検討し、どのようにかわまちづくり計画を成功させるかといった視点が重要だと感じた。 ・いただいたすべてのご意見を確認させていただき、協議会で議論していきたい。
ファシリテーター	・NASA の宇宙飛行士の訓練では、“みんなで考えれば良いものができる”という思想を持ち、15 品を需要度順に並べる“月で迷ったゲーム”を行っている。本日はたくさんの意見が出たため、良いかわまちづくり計画ができると感じた。
事務局	・閉会の挨拶。
事務局	・次回ワークショップは 11 月中下旬の土曜日の午後に荒川公民館での開催を予定している。 以上

第2号
令和6年8月

熊谷市荒川かわまちづくり計画ワークショップ ニュース

第２回ワークショップ開催

具体化したかわまちづくり計画について、意見を出し合いました！



8月31日（土）13時30分より荒川公民館にて、第2回熊谷市荒川かわまちづくり計画ワークショップを開催しました。幅広い年齢層の市民の方々25名に参加頂きました。

第2回ワークショップでは、第1回ワークショップで頂いた基本方針や活動・活用のアイデアのご意見を踏まえ、整備メニュー（案）など、具体化したかわまちづくり計画（案）について意見交換を行いました。

ワークショップ開催概要

▼詳細はこちら

｜日時：8月31日（土） 13時30分～16時30分　｜会場：熊谷市荒川公民館
｜主催：熊谷市　建設部河川課
｜協力：ワークショップアドバイザー（田中規夫、埼玉大学教授）
　　ファシリテーター（澤田俊明、徳島大学客員教授）、 いであ（株）

｜検討テーマ：テーブル1 計画範囲、ゾーン・主要機能配置、社会実験
　　テーブル2 活動・活用のアイデア
　　テーブル3 かわまちづくり計画と熊谷駅等とのつながり

ワールド・カフェ形式の意見交換で参加者意見の相互理解を深めました

全体：第１回ワークショップの振り返り：基本方針

かわまちづくり計画の基本方針に第１回ワークショップ意見が反映されました。

第1回ワークショップで頂いたご意見を第1回協議会で検討し、基本方針の文言に「子どもから大人まで」、「周辺まちづくり計画との連携やまちとのつながりを重視する」等の文言が追加されました。

テーブル１：計画範囲、ゾーン・主要機能配置

第１回ワークショップ意見及び計画登録後５年間での実現性を踏まえ設定した計画範囲、ゾーン・主要機能配置について意見交換を行いました。以下、意見概要です。

凡例　●１班、●２班、●３班
　　●賛同・提案、▲懸念

【計画範囲のご意見】
●先ずコアエリア優先で
●１期は提案通り。２期目は大麻生公園から久下橋として欲しい
●久下橋、大麻生公園を超える範囲は限界がある
●ゾーンに大麻生公園を加えてほしい（ゴルフ場側の坂路の整備必要）

【ゾーン・主要機能配置のご意見】
●各ゾーンの場所は賛同
●ゾーニングはOK　●ゾーン設定は良い
●ゾーニングはいいと思う　●水辺のゾーン○
●歴史文化体験ゾーンに万平公園（万平堤）を含める
●歴史文化のサブゾーン、万平公園の活用（旧堤敷）

【各ゾーンの主要機能に関するご意見】
➢ スポーツ健康文化交流ゾーン
●ランニングコース（川辺）いいね
●桜並木の箇所は涼しいので道の整備が望ましい
●バーベキューは特に必要です。車は有料で
●着替えができるスペースがあるといい
●地元のスポーツ選手を呼んだスポーツ教室
●市民活動との連携（市民ボランティアとの連携）

ゾーン設定と各ゾーンの主要機能（事務局案）



➢ 水辺の憩いゾーン
●夏がメインの感じがするので、他の季節も楽しめるような空間だといいと思います
▲白鳥が来るので開発しないで。

➢ 自然環境保全・環境学習ゾーン
▲コイの繁殖地でもあるので自然破壊しないよう注意して（基本はあまり手を加えない）
●ムサシトミヨの生息地を大切に

➢ 歴史文化体験ゾーン
●桜や自然だけでなく、熊谷の歴史を感じさせて

➢ その他
●命を守ること優先（核シェルターの整備）

テーブル１：社会実験

【社会実験へのご意見】
● 社会実験　有料バーベキュー
● BBQで社会実験は賛成です。
● 有料バーベキューをやってみて！！
● バーベキュー社会実験Good！

注　ワールド・カフェ形式：少人数の班で自由な対話を行い、他のテーブル移動して対話を続けることで、参加者意見や知識を集め、共感や相互理解を深めることができる対話手法です。

（裏面に続く）

テーブル２：活動・活用アイデア

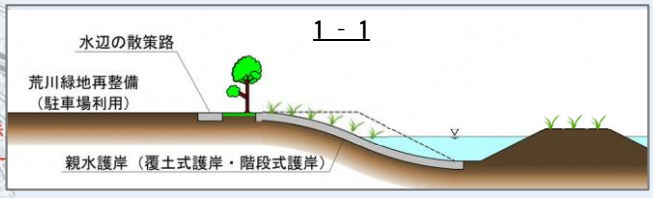
整備メニュー（ハード・ソフト施策）案について意見交換を行いました。以下、意見概要です。

➢ スポーツ健康文化交流ゾーン

●家族や仲間と触れ合えるバーベキュー場の開設。
●河川敷に正規有料制のBBQエリアを設置。
●ピクニックやバーベキュー等、道具のレンタル。
●子ども達が自然とふれあえる広場。
●お年寄りもスポーツできる自然を活かした常設のマレットゴルフコース。
●イモ煮会でもいいですか。（山形風）
●トイレの数を増やしたい。
▲バリアフリーのスロープにするのであれば、降りた先も障害者の方でも利用しやすくしてほしい。
▲体育館のアプローチデッキから荒川土手へ降りられると至便では？
▲階段式護岸で緑の土手をコンクリにしないで。
▲東屋よりも大きな木を育てたい。
▲遊びの広場のためにサッカーとか今の利用者をしめ出さないで。遊び道具等を常設しないで。
●駐車場は体育館用と川遊び用で分ける。
▲水辺の散策路は暑くて歩けない。ワンドや川遊びに行くため、川沿いに車道＋駐車場が良いのでは。
●交通手段としてシェアサイクルの活用はどうか。

かわまちづくり計画　ハード・ソフト施策（事務局案）





アドバイザーコメント（埼玉大・田中教授）
閑静な住宅街に悪い影響を与えずにどのように賑わいを創出するか、またはどのように閑静な状態を保つかを検討し、どのようにかわまちづくり計画を成功させるかの視点が重要だと感じました。



アドバイザーコメント（埼玉大・田中教授）
「水辺の安全との関連」と「民間を含める等の維持管理上の運営の仕組みづくり」の視点が重要だと感じました。



➢ 歴史文化体験ゾーン

●安藤野雁（あんどうぬかり）の歌碑があるが、俳句を吟じながらのウォークもいいかも。
●歩きで対岸に渡れる橋があると良い。かつては小舟で南岸まで渡った。小舟を並べて歩道に。
●桜堤の保全。桜百選として名所になってほしい。
●桜の木オーナー制度などでより良い桜並木に。

➢ 水辺の憩いゾーン

●水辺の散策路は欲しいです。
●子供も老人も安全に清涼感のある散歩が楽しめると良い。
●ボート賛成。暑い熊谷ならではの荒川を利用できるスポーツを。
▲水辺利用の安全性を確保してください。

➢ 自然環境保全・環境学習ゾーン

▲自然学習のために自然をこわさないで。

➢ その他　維持管理・運営

●ボランティアと市と協力し合った管理を！
▲ソフトサービスの運営をどのように行うのか懸念

➢ その他　核シェルター

●核シェルターだけは絶対に必要（公園等に設置）

テーブル3：かわまちづくり計画と熊谷駅等とのつながり

かわまちづくり計画と熊谷駅等とのつながりについて、意見交換を行いました。以下、意見概要です。

➢ 自動車アクセス　渋滞対策・交通ネットワーク

●通常時とイベント時の人と車の動きに応じた計画を考えて頂きたい。イベント時の人の安全確保。
●荒川大橋から直接左折で入る坂路。大通りなので住宅街を通らない。

➢ 坂路、駐車場を複数に

●河川敷、体育館の利用者増加が見込まれるので車と人のアクセスを良くする必要がある。
▲南大通りの混雑。大麻生側の坂路からの車の利用。
▲河川敷への坂路は2ヶ所（上流・下流）必要。
●万平公園の歩道橋のある道から土手への坂路。
●見晴公園出入口を考えた駐車場を作る。
▲荒川河川敷駐車場が限られた土地であるため、新市民体育館には併設して立体駐車場を設けるべき。
▲体育館の規模拡大すると駐車台数も増やさないとパンクする。

➢ 歩行者のアクセス

●車と人の動線の分離。（堤防道路、坂路）
●駅からの車のアプローチはNG。人間のみ。車を遠くから導いていく案で進めたい。
●駅から歩行者のみの広いメインストリートを作る。
●●●駅から専用歩道橋、ペデストリアンデッキ。

➢ アクセス動線　検討A案・B案・C案について

●A案＋大型バス入口、A案がいい。（合理的）
▲A案　新体育館のために公園をつぶすのは反対。
●A案　駐車場が他の案よりも大きくて体育館利用。車に便利だと思う。公園の範囲が狭まるのは残念。
▲A案 B案 C案 公園を小さくして箱物を作るのは自然破壊では？道をつぶさないで。
▲A案B案あり得ない。C案も賛成ではないが道を考えればC案の道路計画が一番かと思う。
▲公園の木々を守って。

【お問い合わせ】
■主催　熊谷市建設部河川課　（担当：瓜田・溝口）
ＴＥＬ：０４８－５２４－１１１１　ＦＡＸ：０４８－５２５－８８７８
〒３６０－８６０１　埼玉県熊谷市宮町二丁目４７番地１

ご参加ありがとうございました



©Kumagaya City

第３回熊谷市荒川かわまちづくりワークショップ　議事録

（要点筆記）

●日　　時：令和 6 年 11 月 30 日(土)　13 時 30 分から 16 時 30 分まで

●場　　所：熊谷市荒川公民館

●次　　第：1. チェック・イン（開会、挨拶 等）
2. 情報の共有
3. ワークショップ
1）本日の進め方
2）検討① かわまち計画案の確認（論点１～３、論点４（ハード））
3）検討② 市民・行政協働でのかわまち活動（案）について（論点４（ソフト））
4）テーブル確認・発表
4. チェック・アウト

●出席者：（出席者）計 17 名
（欠席者）計 7 名
（アドバイザー）埼玉大学教授　田中 規夫
（事務局）熊谷市　建設部
建設部河川課
都市整備部公園緑地課
都市整備部都市計画課
産業振興部商業観光課
（ファシリテーター）徳島大学客員教授　澤田 俊明

●資　料：プログラム（第３回）、ＷＳ参加者のみなさんへ
資料１ 第２回ワークショップ・ニュースレター
資料２ 社会実験の報告
資料３ 熊谷市荒川かわまちづくり計画（案）
資料４ 意見まとめ
資料５ かわまちづくりでの活動（案）
資料６ 今後の予定

1. チェック・イン	
事務局	・開会の挨拶。
ファシリテーター	・アイスブレイク。
2. 情報共有	
事務局	・資料 1 をもとに、第 2 回ワークショップの振り返りを行った。 ・資料 2 をもとに、10 月 6 日と 26 日に行った社会実験の結果を報告した。 ・資料 3 をもとに、11 月 25 日時点版のかわまちづくり計画（案）を説明した。 ・資料 4 をもとに、今までいただいたご意見をまとめた表の説明を行った。 ・資料 5 をもとに、11 月 25 日時点版のかわまちづくりでの活動（案）を説明した。
参加者	・資料 29 ページの体育館の位置が現況の位置と違うので注意が必要である。
アドバイザー	・社会実験を 2 回見た中で 2 つ感じたことがある。 1 つ目は、活動に関することである。子供が喜んでいる姿は癒しであり、地域の活力を感じて非常に良いと感じた。また、自然観察会で生き物に触れることは座学では得られない貴重な教育であり、大人になるまでいい影響を及ぼすのではないかと感じた。そういう場をつくれる意義、このかわまちづくりをつくるということの意義を感じた。 2 つ目は、この熊谷という場所でかわまちづくりをやるという意味である。ここは駅から非常に近く、堤防に登ると川が見える。それから少し歩けば川らしい川（＝砂州に植物が生えていて、澪筋が曲がっていて、流れの速い瀬があって、ワンドがある川）を感じる。荒川の上流は、自然の豊かな場所はあるが流れが速い、あるいは河岸段丘が発達していて町から非常に遠く、下流は川が見えない。川の様子として我々が思い浮かべるような川がコンパクトに詰まっているのが今回社会実験をやっている場所であり、荒川の中でも代表的な絶好のポイントでかわまちづくりをやるという事を改めて感じた。 ・過去 2 回のワークショップで方針や計画範囲、主要機能、活動に関する様々な意見をいただき相互理解が深まり、いただいた意見をもとに今回の社会実験に反映したうえで、かわまちづくり計画案ができている。先ほど説明があったように、多くの意見は反映されており、課題や留意点は今後の活動の中で反映していく予定である。 ・かわまちづくりはハード的に箱モノを作れば終わりではなく、今後の活動案をしっかりと考えて議論し活動を続けていく事で、良いものになっていくと考えるため、今まで以上に意見を出していただき、今後の活動も含めて良いものになるよう議論していただきたい。

3. ワークショップ　1）本日の進め方	
ファシリテーター	・ワークショップの進め方を説明した。
2）検討① かわまち計画案の確認	
テーブルファシリテーター	・かわまちづくり計画（案）への意見反映の確認を行った。 ・拠点整備図に賛成、懸念（今後の課題、留意点）、その他意見を頂いた。いただいたご意見を表 1-1～表 4-2 に示す。
3）検討② 市民・行政協働でのかわまち活動（案）について	
テーブルファシリテーター	・市民・行政協働でのかわまちづくり活動（案）の事務局案を説明した。 ・かわまちづくり活動（案）に賛成、懸念（今後の課題、留意点）、その他意見を頂いた。
4）テーブル確認・発表	
代表者	・テーブル毎にいただいた意見の読み上げを行った。
4. チェック・アウト	
ファシリテーター	・ワークショップで意見が言えた、意見が聞けた、ワークショップの時間（長さ）、満足度について◎、〇、△でシールアンケートを行った。
アドバイザー	・「荒川は財産だ」、「今の荒川を大事に」、「改悪しない」、「開発するならいいものを残したい」といった市民の思いが伝わった。 ・いただいたたくさんのご意見は次回の協議会で議論をして、良いものが残るようにする。 ・ワークショップで議論したことが反映されていないということが無いよう、いただいた意見を引き継ぎ、反映できなかった意見は理由を添えるなど何らかの形で残して、かわまちづくり計画が進むと良い。
ファシリテーター	・ワークショップの成功の要件は、①みんなで考えれば良いものができる（計画合理性）、②意見が反映されている（意見反映性）、③みんなが納得している（手続き合理性）と言われている。 ・ワークショップの満足と参加について、「人は他人から命令されたり押し付けられたりすることは嫌う。一方で、人は自ら考えたことは実行する。」これは広島大学で長年教べんをとられた長町三生先生のお言葉であり、30年以上も人を観察し続けた結果をまとめたもの、とのこと。そして、長町先生の研究より、人間の満足は、自我関与と責任感などが喜びや満足度に結び付くそうである。そして、この自我関与と責任感は、参加で強化される。 ・熊谷市荒川かわまちづくりワークショップに参加された皆さんは、まさに自我関与・責任感が自然と強まり荒川やかわまちづくりへの満足度が高くなったと思う。

事務局	・今後とも熊谷荒川かわまちづくりをよろしくお願いいたします。 ・閉会の挨拶。 以上

第3号
令和6年11月

第３回ワークショップ開催

かわまちづくり計画への市民の方々の想いを受け取りました！

１１月３０日(土)１３時３０分より荒川公民館にて、第３回熊谷市荒川かわまちづくり計画ワークショップを開催し、市民の方々１７名に参加頂きました。

第３回ワークショップでは、これまでの関係者ヒアリングや協議会、第１回、第２回ワークショップでいただいたご意見を踏まえて作成したかわまちづくり計画(案)について、意見反映の確認を行いました。また、今後のかわまちづくりの活動(案)について意見交換を行いました。

今後は、地域の多様な意見・アイデアが詰まったかわまちづくり計画(案)を協議会で審議し、その結果を踏まえ、かわまちづくり計画の令和７年度登録に向けて取り組んでまいります。

ワークショップ開催概要

▼詳細はこちら
QR

- 日時：１１月３０日(土)　１３時３０分～１６時３０分
- 会場：熊谷市荒川公民館
- 主催：熊谷市　建設部河川課
- 協力：ワークショップアドバイザー(田中規夫、埼玉大学教授)
  ファシリテーター(澤田俊明、徳島大学客員教授)、　いであ(株)



検討テーマ：①かわまちづくり計画(案)とワークショップ意見反映の確認【論点１～３、４(ハード施策)】
②かわまちづくり活動(案)について【論点４(ソフト施策)】
(論点１：方針　論点２：範囲　論点３：ゾーン・主要機能配置　論点４：活動)

意見が反映されているか、反映されていないか。将来反映されるか。

かわまちづくり計画(案)への意見反映の確認と意見交換を行いました！

これまでいただいた意見を具体化(図化)した計画平面図やイメージパース図を用いて、４グループに分かれて意見交換を行いました。

検討①では、ワークショップでいただいた市民の方々のご意見が、かわまちづくり計画(案)に反映されているか確認いただき、賛成・懸念意見をいただきました。１６個のハード施策(案)のうち、自転車・車両用の堤防坂路、河川敷地内の休憩施設に賛成意見を多くいただきました。懸念意見については、今後の課題・留意点としてかわまちづくり計画書に記し、次年度以降に検討する項目として、設計に引き継いでまいります。

どんな活動があったら良いか。

かわまちづくり活動(案)について意見交換を行いました！

検討②では、これまでいただいたソフト施策に関するご意見のうち、市民・行政協働での活動３案を提案し、それらに関する賛成・懸念意見をいただきました。最後に、それらの施策の中で「重要」「やや重要」と感じるものについてシール投票を行った結果、「地域交流イベント」と「車の渋滞対策」の重要度が高いことが分かりました。

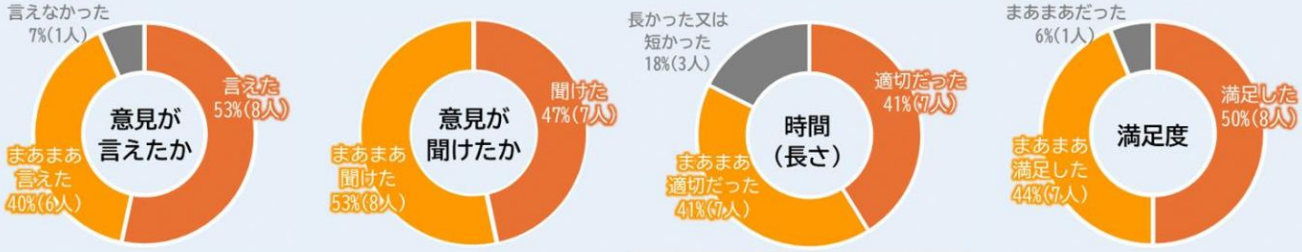
グラフィックレコーディングを用いて、第３回ワークショップでの検討内容をまとめております。裏面をご確認ください！



©Kumagaya City

ワークショップ全体の満足度を伺いました！

ワークショップ（全３回）を通して、「意見が言えたか」、「意見が聞けたか」、「時間（長さ）はどうだったか」、「満足度はどのくらいか」を伺いました。その結果、９０％以上の方がワークショップに満足いただけたことが分かりました。



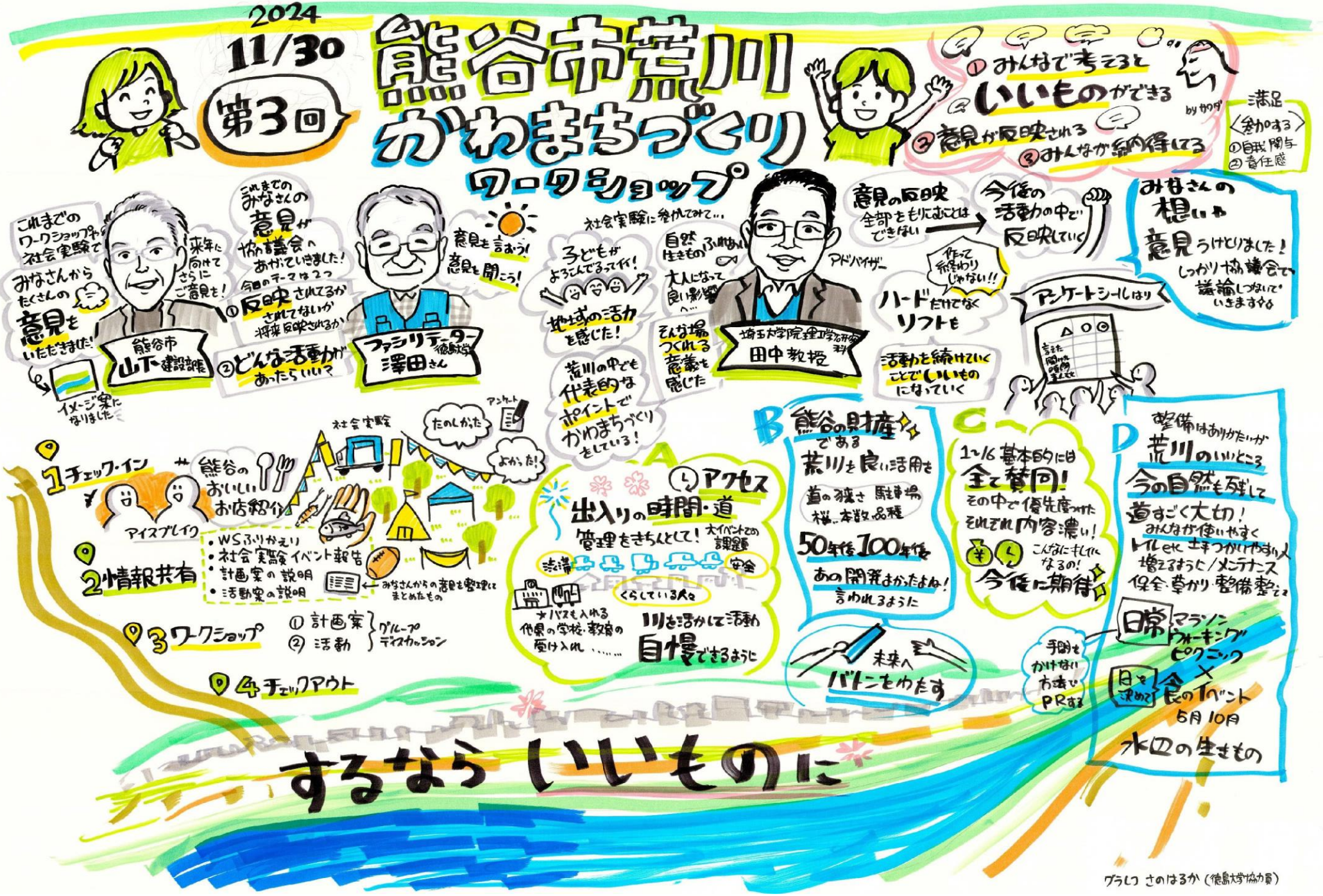
【お問い合わせ】
■主催　熊谷市建設部河川課　（担当：瓜田・溝口）
ＴＥＬ：０４８－５２４－１１１１　ＦＡＸ：０４８－５２５－８８７８
〒３６０－８６０１　埼玉県熊谷市宮町二丁目４７番地１

ご参加ありがとうございました



©Kumagaya City

グラフィックレコーディング※による第３回ワークショップの記録



※グラフィックレコーディングとは、会議やイベントの内容を絵や図形などを用いてまとめる手法



熊谷市荒川かわまちづくり

社会実験

会場 / 熊谷荒川緑地（入場無料）
時間 / 10：00～15：00 ※雨天中止

「かわまちづくり」とは

地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、地域活性化や観光振興などを目的に、市町村や民間事業者、地域住民等と河川管理者が各々の取り組みを連携することにより「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間を形成し、河川空間を活かして地域の賑わい創出を目指す取り組みです。

- 河川敷地内に駐車スペースが限られています。徒歩か自転車でのご来場にご協力をお願いいたします。
- 会場内外での手荷物の管理やケガについては、自己責任にてお願い致します。
- ゴミは各自でお持ち帰りください。
- 気象状況によりイベント内容は変更になる場合があります。
- 会場ではスタッフが写真の撮影を行います。これらの撮影物はHPやチラシ等に使用・掲載させていただくことがございますので、予めご了承願います。

詳細はQRコードからご確認ください。

状況により一部変更または中止の可能性があります。

手ぶらできても遊べるコーナー

荒川緑地でいろいろな遊びを体験しよう！

自由に組み合わせて遊べる移動式遊具や、モルックなどのインクルーシブな遊びを、どなたでも無料で楽しめます。

場所：あそびのひろば

モルック、風船バレーボール大なわの貸し出しもあるよ！

※1 インクルーシブな遊び
障がいの有無や年齢、性別、国籍などに関わらず、すべての子どもが遊べる遊び



写真提供／株式会社コトブキ

手ぶらでもピクニックコーナー

自然の中でくつろごう！

誰でも自由に使えるイスやテーブル、ハンモックを設置します。
開放的な水辺空間でくつろいでみませんか？
遊びながら防災を学べる、ポールテント張りも体験できます。

場所：ピクニックひろば

ポールテント張り体験
- 第1回 10：00-11：00（先着6組）
- 第2回 11：00-12：00（先着6組）





水辺の生きものコーナー

荒川の水辺の生きものと触れ合おう！（桜木小学校とのコラボ企画）

川にはどんな生きものがいるのかな？
荒川河川敷に生息する生きものの展示や桜木小学校の児童が行う水質調査の結果をご覧いただけます。

場所：いきものひろば

水辺の生きものを見てみよう！



ラグビーボールに触れてみようコーナー

タグラグビーを体験してみよう！

タグラグビーのルール説明やパス練習など、楽しく学んで体験できます。
簡単なので、こどもから大人までどなたでもご参加いただけます。

場所 ：あそびのひろば（自由広場）
持ち物：動きやすい服装・運動靴
飲み物・タオル

ラグビーボールを投げてみよう！



キッチンカーが出店予定！





スクマム！クマガヤ
©kumagayacity

熊谷市荒川かわまちづくり
- 開催日： 2024年10月6日（日）
- 会　場： 熊谷荒川緑地
- 主　催： 熊谷市建設部河川課

■ お問い合わせ

熊谷市建設部河川課（担当：瓜田・溝口）
TEL：048-524-1111 FAX：048-525-8878
埼玉県熊谷市宮町二丁目47番地1

～熊谷市荒川かわまちづくり 社会実験 報告～

日　　時：10月6日(日) 10時～15時　　**会　　場：熊谷荒川緑地 自由広場**

参加人数：60～70名（うち小学生以下20人程度）

実施概要： かわまちづくり計画への地域参加の取組として、水辺の新たな利活用にチャレンジする社会実験を実施しました。今回チャレンジしたメニューは、地域の仲間やご友人、ご家族で楽しく過ごす空間や、楽しみながら熊谷のラグビー文化や荒川の自然環境への親しみ、豪雨災害への備えの意識を醸成する利用にチャレンジしました。当日は小雨気味の天気でしたが、60～70名の方に参加頂き、参加後にアンケートにもご協力いただきました。ご協力ありがとうございました。

手ぶらできても遊べるコーナー

誰もが自由にスポーツや健康づくりを楽しむ空間づくりにチャレンジ！

自由広場内に、障害の有無や年齢、性別、国籍などにかかわらず、すべての子どもが遊べるインクルーシブな遊び場をつくりました。自由に組み合わせて遊べる移動式遊具や、モルック、風船バレーボールなど、子どもから大人まで楽しみました。

こどもアンケート（感想）

・モルックが楽しかった
・ふうせんバレーがたのしかった
・ゆうぐがたのしかった





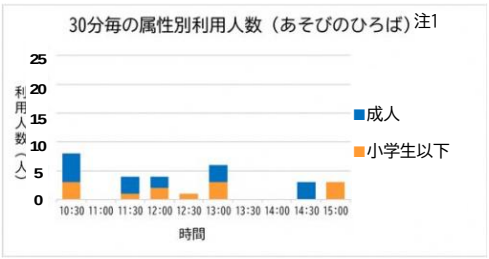
移動式遊具

ブロックの配置を変えることで、年齢に応じた遊び方ができる遊具です。幼児から小中学生、大人(^^)まで、みんなで楽しんでいました。



ジャンピング遊具

みんなで一緒に跳ねて遊べるジャンピング遊具です。友達と飛び跳ねて楽しんでいました。





大縄

グループで大縄とびを楽しんでいました。



風船バレーボール

元気よく風船バレーボールを楽しんでいました。



モルック



モルックは木の棒を倒して数を合計して楽しむゲームです。子どもから大人まで一緒に楽しんでいました。

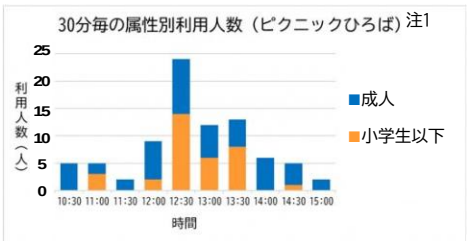
手ぶらでもピクニックコーナー

多様な世代の人との出会いと交流を育む憩いの空間づくりにチャレンジ！

荒川緑地の広場にイスやテーブルを設置して休憩コーナーとしました。お昼の時間帯を中心に多くの方が休憩したり、キッチンカーのご飯を食べたり、遊んでいる子ども達を見守りながら談笑をして寛いでいました。ハンモックでは、子どもから大人まで、のんびりとした時間を過ごしていました。

こどもアンケート（感想）

・ハンモックが楽しかった
・大人とやったかるたが楽しかった





出典：
国土交通省北海道開発局
ウェブサイト

遊びながら災害にそなえる

豪雨災害への備えを学ぶ水防災カルタやテント利用を体験していただきました。





キッチンカー



休憩コーナー（テーブル・イス）



休憩コーナー（ハンモック）

（裏面につづく）

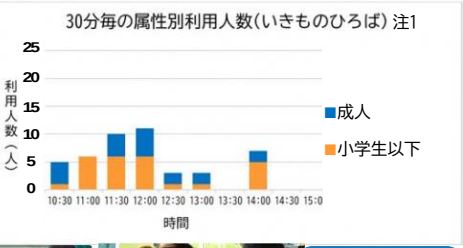
水辺の生きものコーナー

荒川の水辺の生きものと触れ合いイベントにチャレンジ！

荒川の豊かな自然環境の魅力の情報発信を目的に荒川に生息する水生昆虫や魚などの生き物の展示や、ふれあいコーナーを設けました。
子どもたちは生き物との触れ合いを夢中になって楽しんでいました。大人の方も、荒川の生き物の種類が多い事を知って驚いていました。
保護者の方からは、「子どもたちが生き物に触れ合う機会が少ないので、とてもいいですね」とのコメントをいただきました！

こどもアンケート（感想）

・さかなをはじめてさわったのでたのしかったです
・さかなをさわれてうれしかったです
・思ったよりたくさん種類がいて楽しかった



水槽展示（魚）







テナガエビ



オイカワ

ぜ～んぶ荒川で見つけた魚たち

在来種	国内外来種	国外外来種
・アユ ・オイカワ ・カマツカ類	・フナ類 ・スゴモロコ類 ・モツゴ・タモロコ	・コクチバス ・ブルーギル ・コイ









コオニヤンマ

ラグビーボールに触れてみようコーナー



スポーツや健康づくりを楽しむイベントにチャレンジ！

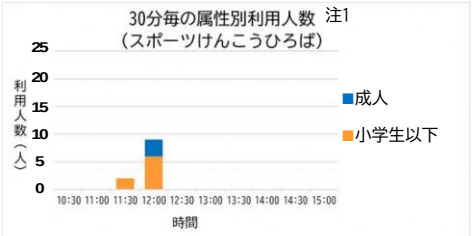
スポーツを通じた地域交流や熊谷ラグビー文化の発信を目的に熊谷市ラグビー部とコラボし、タグラグビー体験イベントを実施しました。
パスのやりかたやルールを講師に教えてもらい、子ども達が元気いっぱい、タグラグビーを楽しみました。

こどもアンケート（感想）

・タグラグビーが楽しかったです
・タグラグビーでみんなで協力できてたのしかったです！
・タグラグビーがかってうれしかったし、楽しかったです







パネル展示コーナー

下記のパネル展示を行いました

- **熊谷市荒川かわまちづくり計画検討内容のご紹介**
  かわまちづくり計画基本方針や市民ワークショップの検討状況、市民アンケート調査結果をまとめて紹介

- **防災パネル（ハザード情報等）**
  災害リスク情報の共有を目的に熊谷市防災ハザードマップや熊谷水位観測所の川の防災情報を紹介



- **荒川の自然環境**
  荒川の自然環境（荒川読本）や国土交通省の荒川水系流域治水プロジェクトの内容を紹介



アンケートコーナー（一般用・子ども用）

参加いただいた皆さまに、参加した感想やかわまちづくり計画へのご意見をいただきました。ここでは、小学生以下の参加者から頂いたご意見の一部をご紹介します。

こどもアンケート：かわまちづくりへのみんなの意見（抜粋）

Q. 荒川や荒川緑地が将来どんな場所になったらいいと思いますか

・お水遊びがしたい
・かくれんぼができるばしょがほしい
・みんなであそべるばしょがほしい
・友達とアスレチックがしたい
・宝探しをしたい!!
・川遊びするところがほしい
・自分でつかまえた生き物を展示できる場所になってほしい
・動物園が欲しい
・友達とサッカーをしたい
・お祭りができる場所になってほしい





※注1　カメラ画像を元に30分間隔でその時点の利用人数を計測（全利用人数とは異なる）。属性分類は目視で判断可能な範囲で分類

【お問い合わせ】　熊谷市建設部河川課（担当：瓜田・溝口）　TEL：048-524-1111　FAX：048-525-8878

かわまちづくり社会実験　アンケート結果

熊谷市役所　建設部河川課

熊谷市では荒川緑地および周辺の水辺空間を対象とする「熊谷市荒川かわまちづくり計画」の策定に向け社会実験を実施した。社会実験は施策の計画づくりの段階で、地域の方の参加のもと、新たな利活用を試行的にやってみる取組であり、社会実験実施と合わせ、地域意見の確認のため、社会実験イベント参加者へのアンケート調査を行った。

■ 熊谷市荒川かわまちづくり社会実験
■ 会場　熊谷荒川緑地（入場無料）
■ 日時　2024 年 10 月 6 日(日) 10:00～15:00
■ 天気　雨時々曇り
■ アンケート調査概要
①**一般参加者対象アンケート調査**（対象：中学生以上の参加者）
調査方法：アンケート用紙への記入
回答数　：39 人
調査項目：社会実験の感想、かわまちづくり計画へのご意見
②**子ども対象アンケート調査**（対象：小学生以下の参加者）
調査方法：意見カードへの記入
回答数　：18 人程度※複数回答可なため
調査項目：みずべ利用チャレンジアンケート（楽しかったコーナーとその感想）
かわまちづくりへのみんなの意見



※自然観察会は雨天のため延期。当日はいきもの観察コーナーを自由広場に設置。

図　社会実験開催概要





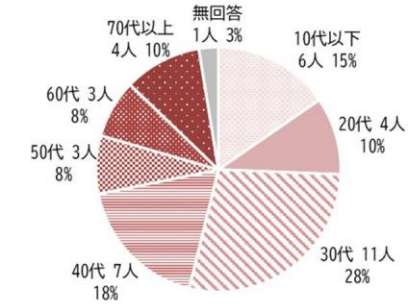
写真　子ども対象アンケートで頂いたご意見

■ 一般参加者対象アンケート調査結果（対象：中学生以上の参加者）

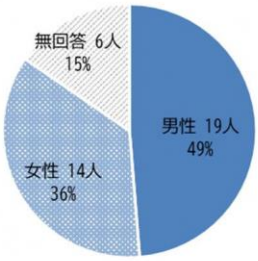
問１　年齢、性別、お住まいについて（n=39）

- 年齢は 30～40 代、性別は男性が半数程度を占めている。居住地に関しては熊谷市内の中央エリアを中心に、市内外の方にご回答いただいた。

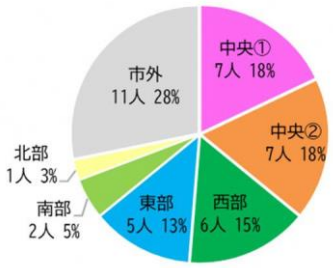
年齢



性別



居住地

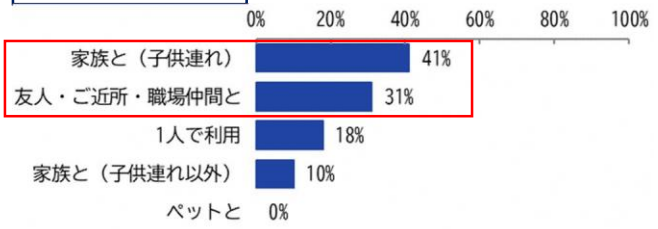


※エリア区分は別紙参照

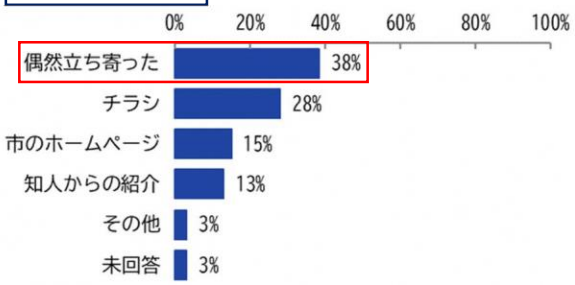
問２「熊谷市荒川かわまちづくり社会実験」について（n＝39）

- 子ども連れの家族でいらっしゃった方が 4 割、友人・ご近所・職場仲間といらっしゃった方が 3 割を占めている。
- 偶然立ち寄ってくださった方が 4 割を占めているため、今後の社会実験では事前のチラシや市ホームページでの宣伝方法を強化すると、より集客が見込めると考えられる。
- 自家用車でいらっしゃった方が 7 割を占めており、今後の社会実験では駐車場の駐車台数や会場へのアクセスを検討する必要がある。

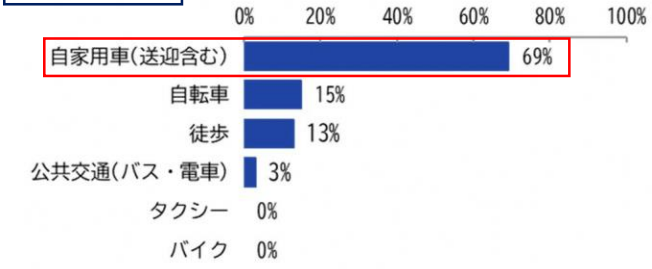
どなたと来たか



何で知ったか

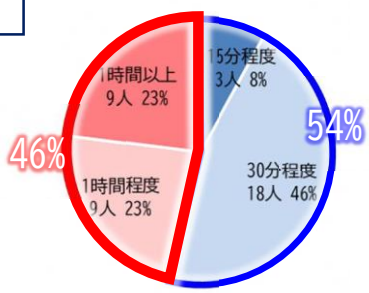


何で来たか



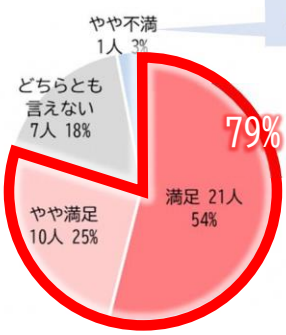
- 会場の滞在時間は 1 時間未満と 1 時間以上がそれぞれ約半数となった。
- 約 8 割の方が社会実験イベントを満足と回答した。

滞在時間



満足度

理由：雨だったため

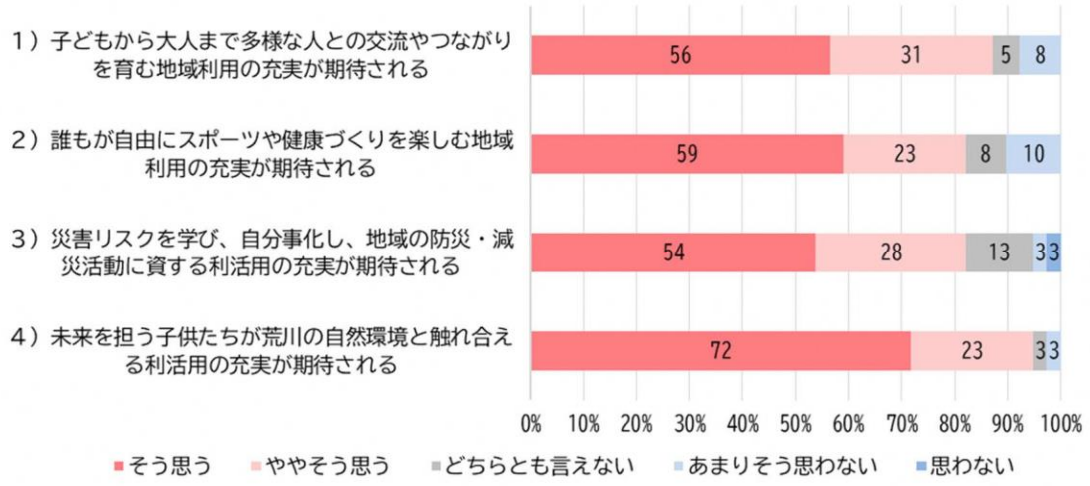


- 8 割以上の方が水辺の生物コーナーを、半数以上が手ぶらできても遊べるコーナー、手ぶらでもピクニックコーナー（休憩）を利用しており、それぞれ利用者の約半数が良かったメニューとして選んでいる。

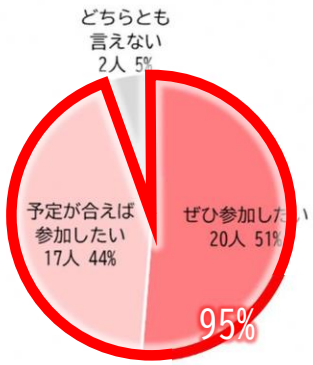
利用メニューと良かった点・改善点

メニュー名	利用したメニュー（複数選択可）	良かったメニュー（1つ選択）	要改善メニュー（1つ選択）
手ぶらできても遊べるコーナー	56%	24%	3%
手ぶらでもピクニックコーナー（休憩）	64%	23%	3%
手ぶらでもピクニックコーナー（防災）	21%	3%	8%
水辺の生き物コーナー	85%	46%	3%
ラグビーボールに触れてみようコーナー	8%	0%	5%
その他・回答なし	5%	5%	80%

- 社会実験メニューによって、①交流やつながりを育む地域利用の充実、②スポーツや健康づくりを楽しむ地域利用の充実、③地域の防災・減災活動に資する利活用の充実、④子供たちが荒川の自然環境と触れ合える利活用の充実 への効果が期待されると 8 割以上の方が考えており、社会実験実施へ期待されていることがわかる。特に④子供たちが荒川の自然環境と触れ合える利活用の充実 への期待が最も多く 9 割を超えている。



社会実験への参加意向



今後取り組んでほしいメニュー（n=21）

メニュー案	意見数
BBQ	5
スポーツ（鬼ごっこ、サッカー、ドッヂボール）	5
川遊び	4
釣り・魚とり	3
イベント（お笑いなど）	2
自然観察（触れる）・散策	2
キッチンカー	1
川の防災教室	1
体験	1
乗り物	1
ボルダリング	1
キャンプファイヤー	1
サウナ	1
その他	1

問３　その他、社会実験イベントや、かわまちづくりへのご意見やご提案（n=22）

- 社会実験イベントの感想や今後の課題、かわまちづくり計画へのご意見を頂きました。

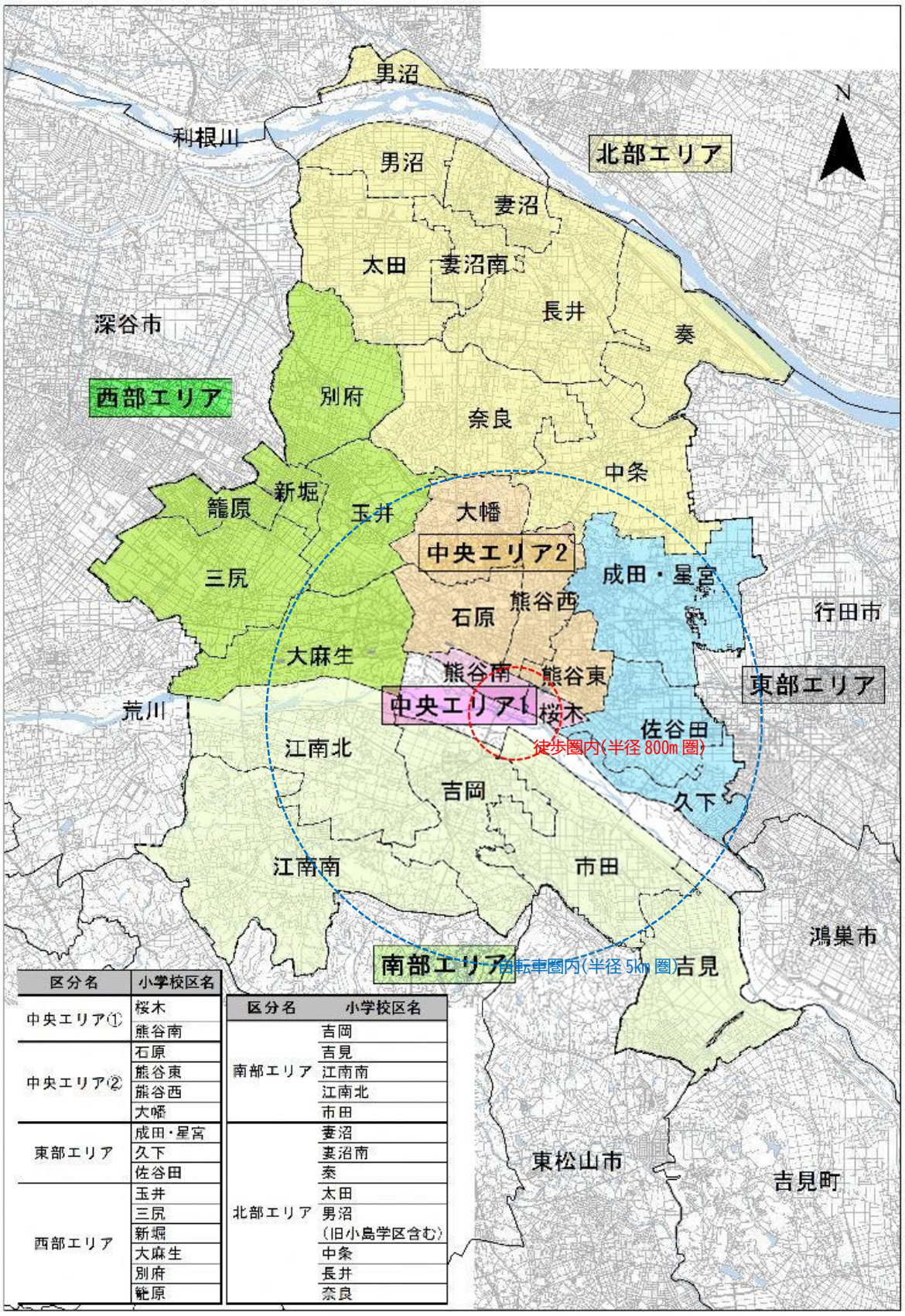
分類		ご意見	意見数
社会実験	感想	・楽しかった	1
		・あいにくの雨で残念	2
	意見収集	・インターネットや市報やポスティングなどを使って広く意見を集めたい	1
	場所	・川辺での社会実験を体験したい	2
		・せっかく川があるのだから川をもっと活かせると良い	
	アンケート	・アンケートもQRコードなどでできるとよい	1
	開催頻度	・定期的にこのようなイベントを開催してください	1
	メニュー	・もっと食もあると助かります	1
かわまちづくり計画	全体	・頑張ってください	1
		・立派なものを期待 ・期待しかありません	2
	スポーツ利用	・鬼ごっこ、ドッヂボール、サッカー	4
	水辺利用	・子供が自然と川で遊べたらと思う ・危険もあるが、自然と共に遊べる場としての”川”を周知してほしい	2
	賑わい	・きれいに整備されれば人がたくさんあつまる場所になると思う ・小さい子ども向けイベントがあってほしい	2
	整備メニュー	・サウナやシャワーがあると嬉しい ・定期的に除草をしてほしい ・ドローンの実習 ・水辺に行ける道	4

子ども対象アンケート調査（対象：小学生以下の参加者）

みずべ利用チャレンジアンケート（複数回答　意見数合計：24）		
てぶらでもあそべるコーナー（意見数：10）	モルックが楽しかった！	3、4年生
	ふうせんバレーがたのしかった（羽生）	3、4年生
	ゆうぐがたのしかったです！	小学生未満
	モルックが楽しかったです	5、6年生
	大人とやったかるたがたのしかった	3、4年生
	ゆうぐがたのしかった	小学生未満
	ゆうぐがたのしかった！	3、4年生
	モルックをいっぱいたおせてうれしかったです。	1、2年生
	モルックが楽しかったです！	5、6年生
	ゆーぐがたのしかった	1、2年生
てぶらでもピクニックコーナー（意見数：1）	ハンモックが楽しかった。	3、4年生
みずべのいきものコーナー（意見数：7）	さかなをはじめてさわったのでたのしかったです	1、2年生
	さかなをさわれてうれしかったです。	1、2年生
	思ったよりたくさん種類がいて楽しかった。	5、6年生
	はじめてさかなおさわってできたしたのしかったよ。	1、2年生
	おさかなにさわれてたのしかった	小学生未満
	おさかながたのしかった	小学生未満
	おさかなをさわれてたのしかったです。	小学生未満
ラグビーボールにふれてみようコーナー（意見数：5）	タグラグビーが楽しかったです。	5、6年生
	タグラグビーがたのしかったです。	5、6年生
	タグラグビーがみんなとできて楽しかったです。	5、6年生
	タグラグビーでみんなで協力できてたのしかったです！	5、6年生
	タグラグビーがかってうれしかったし、楽しかったです。	5、6年生

かわまちづくりへのみんなの意見（複数回答　意見数合計：18）		
宝探し	宝さがしをしたい！！	3、4年生
	宝さがしがやりたい（羽生）	3、4年生
	友だちといっしょにたからさがしをしたいです。	1、2年生
かくれんぼ	かくれんぼができるばしょがほしい	1、2年生
みんなで遊べる	みんなであそべるばしょ。	1、2年生
お祭りができる場所	お祭りができるばしょになってほしい	5、6年生
	お祭りできる場所になってほしい	5、6年生
	お祭りができる場所になってほしい！	5、6年生
	お祭りができる場所になったらいいな。	5、6年生
	お祭りができる場所になってほしい	5、6年生
	お祭りができる場所になったらいいな！	5、6年生
	お祭りができてみんなが交流できる場所になってほしいな！	5、6年生
友達とアスレチック	おともだちとおきいあすれちっくがしたい。	1、2年生
友達とサッカー	友達とサッカーをしたい。	3、4年生
川遊び・水遊び	川遊びをするところがほしい！！	3、4年生
	お水遊びがしたいです。	小学生未満
動物園	どうぶつえんがほしい！	3、4年生
生き物の展示ができる	自分でつかまえた生き物をてん示できる場所になってほしい	5、6年生

（別紙）



区分名	小学校区名
中央エリア①	桜木
	熊谷南
中央エリア②	石原
	熊谷東
	熊谷西
	大幡
東部エリア	成田・星宮
	久下
	佐谷田
西部エリア	玉井
	三尻
	新堀
	大麻生
	別府
	籠原

区分名	小学校区名
南部エリア	吉岡
	吉見
	江南南
	江南北
	市田
北部エリア	妻沼
	妻沼南
	奏
	太田
	男沼（旧小島学区含む）
	中条
	長井
	奈良

図　熊谷市エリア区分図

2024 熊谷市荒川かわまちづくり社会実験

あらかわしぜんかんさつかい

荒川自然観察会

10/26(土)

午前の部：10:00～12:00（9:30受付開始）
午後の部：13:00～15:00（12:30受付開始）

※雨天の場合は中止となります。



～持ち物～
・マリンシューズ、履き古したくつ、かかとのついたサンダルなど
・水筒、ぼうし
・タオル、着がえ（必要な人のみ）
・観察プラケースや「たもあみ」は貸し出します。
（自分のプラケースやたもあみを持ってきたい人はどうぞ）



水辺の生きものをつかまえて水質調査をします。
「生物多様性」について学びましょう
おとなの人と一緒に来てね。

応募締切：10/24(木)

～保護者の皆様へ～
- 当日は保護者同伴（児童３名につき最低１名）でご参加いただきますようお願い申し上げます。
- 会場内外での手荷物の管理やケガについては自己責任にてお願い致します（参加される児童の皆様には当日傷害保険に加入いただきます（保険料は事務局負担））。
- ゴミは各自でお持ち帰りください。
- 気象状況によりイベント内容は変更になる場合があります。
- 川に入る人数は安全上、定員数を設けていますので、参加ご希望の時間帯を調整させていただく場合がございます。
- 会場ではスタッフが写真の撮影を行います。これらの撮影物は熊谷市のHPやチラシ等に使用・掲載させていただくことがございますので、予めご了承願います。
- 河川敷地内は駐車スペースが限られています。徒歩や自転車でのご来場にご協力をお願いいたします。

主　催　：熊谷市建設部河川課（担当：瓜田、溝口）問合せ先：048-524-1490
事務局　：いであ株式会社（担当：土田、脩）　問合せ先：r6kumakawa@ideacon.co.jp

荒川自然観察会参加申し込み

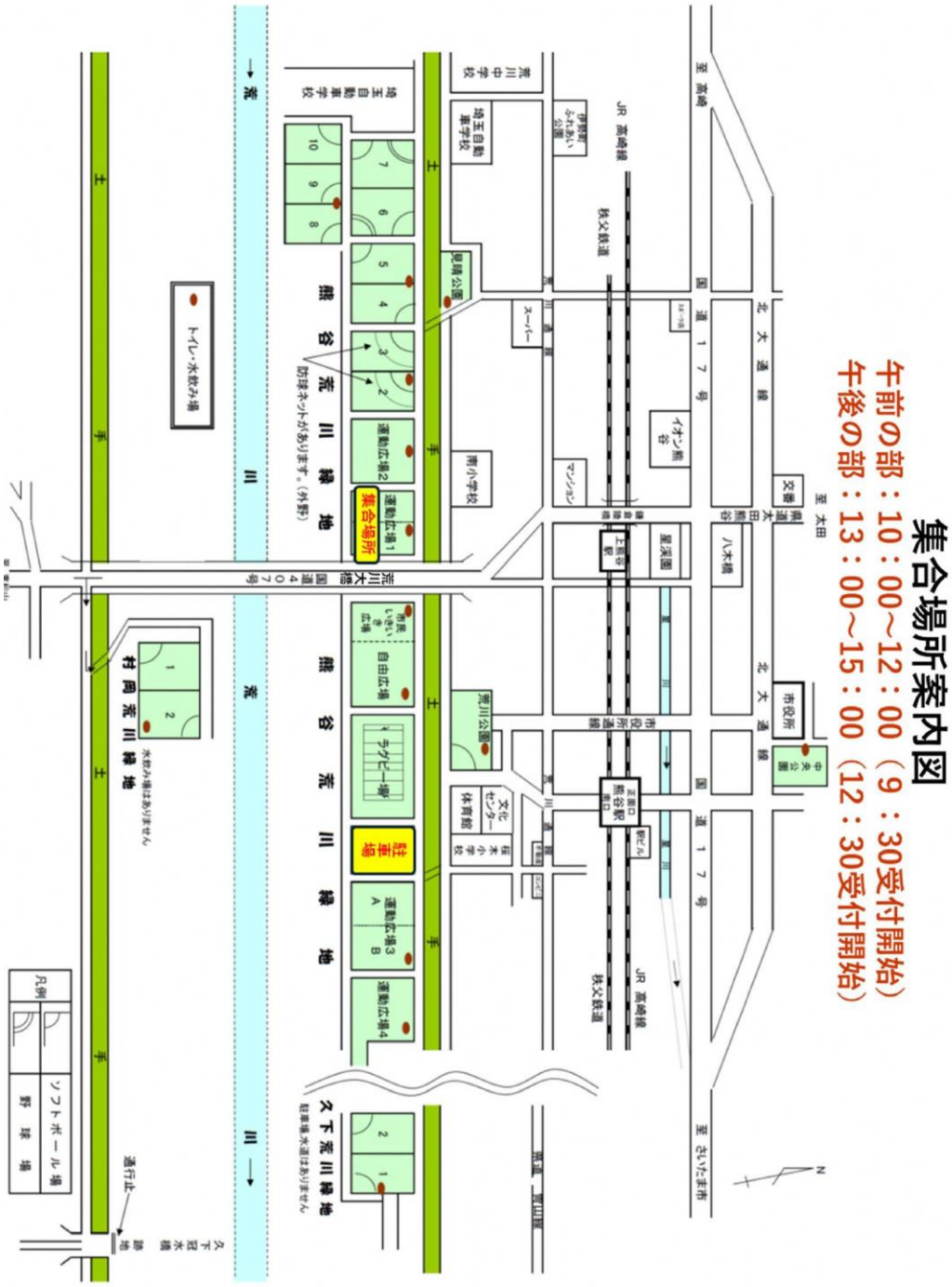
■申し込み方法：下記の❶❷いずれかの方法で申し込みください。
❶ 右のQRコードより申し込みフォームへアクセスしお申込みください。
❷ 必要事項をご記入の上、r6kumakawa@ideacon.co.jp へメールをお送りください。

■必要事項：① 児童氏名（漢字、ふりがな）　② 児童の学年（年生）　③ 児童身長（cm）　④ 保護者氏名
⑤ 保護者の当日参加（参加 or 代理（代理者氏名））⑥ 参加希望時間帯（午前の部 or 午後の部）
⑦ 緊急時連絡先電話番号　⑧メールアドレス

※頂いた個人情報は当イベントの開催にあたっての名簿整理や必要事項の連絡以外には使用しません。
※保護者の当日参加・代理及び参加希望時間帯はいずれかをご記入ください。
※身長はライフジャケットのサイズ適合のために必要な情報です。
※r6kumakawa@ideacon.co.jpからのEメールを受信できるよう迷惑メール設定やメールソフトを設定して下さい。
※雨天により中止する場合等はメールにてご連絡いたします。

集合場所案内図

午前の部：10：00～12：00（9：30受付開始）
午後の部：13：00～15：00（12：30受付開始）



荒川自然観察会　報告

|日　　時：10月26日(土) 13時～15時　　|会　　場：熊谷荒川緑地 河川敷
|内　　容：自然観察会　　|参加人数：小学生6人、保護者7人、その他（見学）7人



実施概要：

荒川の水辺の新たな利活用の試みとして、熊谷市と桜木小学校がコラボし、荒川の豊かな自然環境を体感し学ぶことを目的とする自然観察会を開催しました。

荒川大橋上流の浅瀬やワンドを活用し、事前に応募頂いた親子（児童・保護者）を対象に、専門家による詳しい生き物解説のもと、水辺の生き物探しや、生き物を用いた水質調査などを体験して頂きました。

また、子どもたちの安全な利用のため、楽しみながら学ぶ川の安全教室や、水辺への安全なアクセス路の試行を行いました。

学習メニュー：

1. 楽しみながら学ぶ川の安全教室
2. 荒川に棲む生き物探し体験＆専門家による生き物解説
3. 生き物による水質調査
4. パックテストを用いた水質検査
5. アンケート





荒川に住む生き物探し体験

網を使って、浅瀬とワンドの２箇所で生き物を探しを行いました。水生昆虫や底生生物、魚の稚魚を見つけました。



例.コオニヤンマ
ヤゴ（トンボの幼虫）
ややきれいな水を好む生き物



専門家による生き物解説

生き物の名前や好む環境を確認しました。



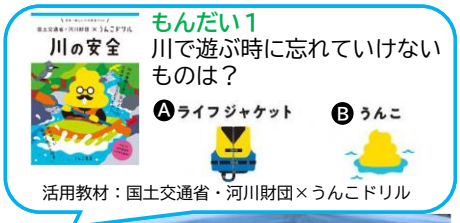
生き物を用いた水質調査
川がどれくらいきれいか判定

生き物の種類と数で川がどれくらいきれいか判定しました。



パックテストを用いた水質検査

生き物を用いた水質調査の結果とパックテストを用いた水質検査の結果を比べてみました。





楽しみながら学ぶ川の安全教室

アンケート（参加した感想（一部のご紹介））

【参加児童】参加児童全員から「楽しかった」の感想を頂きました！

・さかなをつかまえたから。／いろんないきものがいたから。
・たくさん魚や水の虫がとれたから。
・いきものにあえてよかった。もういちどきたい。

【参加保護者】「良かった点」のご意見をたくさん頂きました！

・いろんな場所でいきものを探せて良い経験になりました。
・安全対策が万全でありがたかった。川や生き物のことをたくさん教えて頂いて勉強になりました。どれも楽しかったです。
・川に住んでいるいきものによって水のきれいさがわかることが勉強になりました。





ワンドに住む魚の確認＆投網体験

【お問い合わせ】　熊谷市建設部河川課（担当：瓜田・溝口）　TEL：048-524-1111　FAX：048-525-8878

荒川自然観察会　アンケート結果

熊谷市役所　建設部河川課

熊谷市では荒川緑地および周辺の水辺空間を対象とする「熊谷市荒川かわまちづくり計画」の策定に向け社会実験を 10 月 6 日に実施した。そのうち、雨天のため延期となった荒川自然観察会を実施した。荒川自然観察会実施と合わせ、地域意見の確認のため、参加者した児童と保護者へのアンケート調査を行った。

■ 熊谷市荒川かわまちづくり社会実験　荒川自然観察会
■ 会場　熊谷荒川緑地　河川敷
■ 日時　2024 年 10 月 26 日(土) 13:00～15:00
■ アンケート調査概要
①子ども向けアンケート調査(対象:小学生)
調査方法:アンケート用紙への記入
回答数　:6 人
調査項目:自然観察会の感想、かわまちづくり計画へのご意見
②保護者向けアンケート調査(対象:保護者、見学者)
調査方法:アンケート用紙への記入
回答数　:8 人(保護者 6 人＋見学者 2 人)
調査項目:自然観察会の感想、かわまちづくり計画へのご意見

■ 子ども向けアンケート調査結果

問 1　学年、性別について（n=6）

- 1 年生と 3 年生の子ども 6 人に参加いただいた。
- 男子生徒が 5 人、女子生徒が 1 人であった。

学年 (n=6)



性別 (n=6)

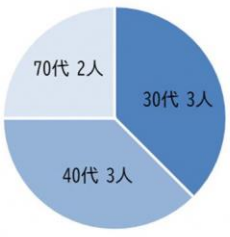


■ 保護者・見学者向けアンケート調査結果

問 A　年齢、性別、アクセス方法について（N=8）

- 30～40 代の保護者と 70 代の見学者 2 人に参加いただいた。
- 会場へのアクセス方法は「車」が半数を占めていた。

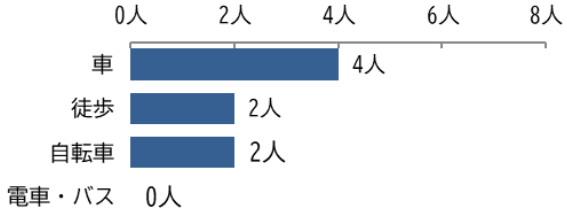
年齢 (N=8)



性別 (N=8)



アクセス方法 (N=8)

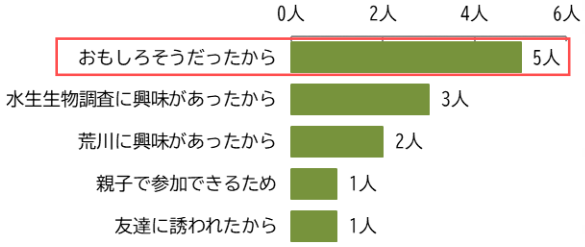


■ 子ども向けアンケート調査結果

問２ 観察会を知ったきっかけ、参加理由（n=6）

- 「おもしろそうだったから」を理由に参加した子どもが多くいた。

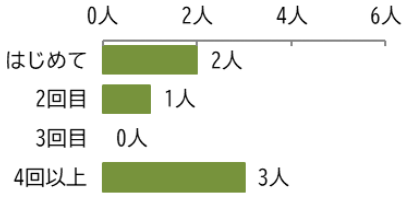
参加理由 （n=6） ※複数回答可



問３ 荒川での生物探しや観察の経験（n=6）

- 水辺でいきもの観察をしたことがある子どもが ４人、初めての子どもが２人であった。

自然観察体験回数 （n=6）



問４ 参加した感想（n=6）

- ６人全員が「楽しかった」と回答した。

感想 （n=6）



楽しかった理由

・さかなをつかまえたから
・いろんないきものがいたから
・さかなをたくさんつかまえられるから
・たくさん魚や水の虫がとれたから
・いろいろな魚がいたから
・いきものにあえてよかった。もういちどきたい。

▼投網



▼採取した魚

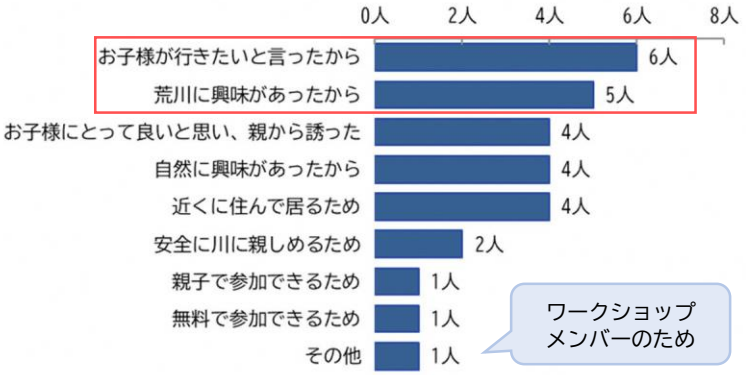


■ 保護者・見学者向けアンケート調査結果

問Ｂ 観察会を知ったきっかけ、参加理由（N=8）

- 「お子様が行きたいと言ったから」、「荒川に興味があったから」を理由に参加した人が多くいた。

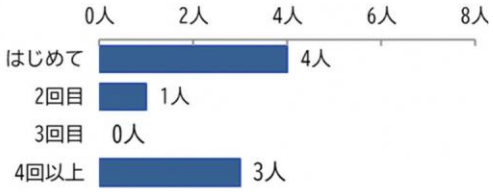
参加理由 （N=8） ※複数回答可



問Ｃ 荒川での生物探しや観察の経験（N=8）

- 水辺でいきもの観察をしたことがある人が４人、初めての方が４人であった。

自然観察体験回数 （N=8）



問Ｄ 観察会の良かった点、改善点（N=8）

- 「勉強になった」、「運営が手厚くて良かった」というご意見をいただいた。
- 「宣伝方法の改善」や「集合場所の改善」が必要というご意見をいただいた。

良かった点

［開催内容の良かった点］
・色んな場所で生き物を探せて、良い経験ができました。
・川や生き物のことをたくさん教えていただけて勉強になった。
・どれも楽しかった。投網は初めてみた。
・初めて見る生き物や投網
・身近だけど普段入れないところに入れた。魚を取ったり、子供が楽しんでいた。
・川の住んでいる生き物によって水のきれいさが分かることが勉強になりました。水質検査は一過性のものであることも理解できた。
・魚などが色々といるのがわかった。
［運営の良かった点］
・小人数に対して運営の方が多く、安心して川に入れた。
・何を質問しても答えて頂けた。手厚く講義して頂けた。大変興味深かった。
・スタッフさんがたくさんいて安全対策が万全でありがたかった。
・安全に配慮していただいて安心して子の様子を見守れた。
・スタッフの方が丁寧に子供に接してくださって良かった。子供用と大人用に分けてアンケートを用意してあって良かった。
・子供が喜んでおり安全に配慮していただいたのでとても良かった。

■ 子ども向けアンケート調査結果

▼浅瀬での採取



▼ワンドでの採取

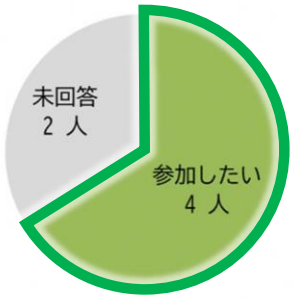


問5 今後の参加意向、実施内容(n=6)

- 未回答者を除いた 4 人全員が「来年度も参加したい」と回答した。
- 未回答者を除いた 4 人全員が「水生生物調査」と回答した。

来年度の参加意向

(n=6)



■ 保護者・見学者向けアンケート調査結果

改善点

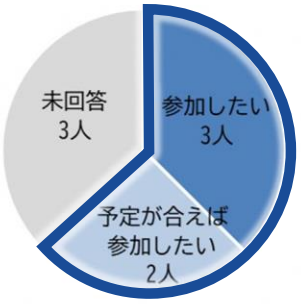
[宣伝方法の改善]
・宣伝がたりなかった。とても良い企画なのにもったいない。
・楽しいイベントなのでもっとたくさんの子供が参加できたらいいと思う。
[集合場所の改善]
・集合場所がわかりづらかった。

問 E 今後の参加意向、実施内容 (N=8)

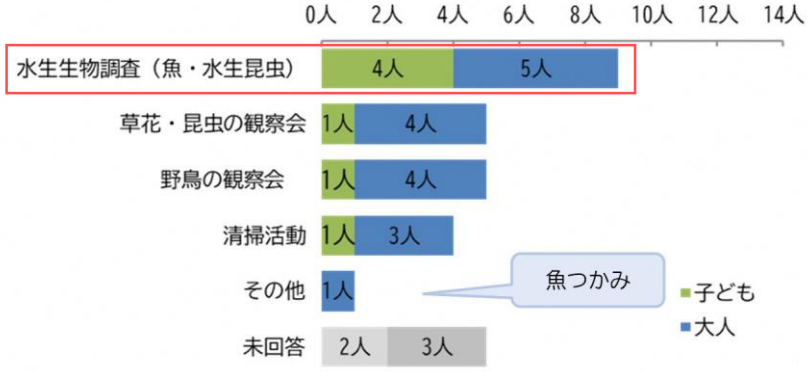
- 未回答者を除いた 5 人全員が来年度の参加意向を示した。
- 「水生生物調査」、「草花・昆虫の観察会」、「野鳥の観察会」など、生物や自然に触れあえる体験が多く選ばれた。

来年度の参加意向

(N=8)



来年度以降の実施内容 (n=6)(N=8) ※複数回答可



問 6 今まで荒川で遊んだ(利用した)経験 (n=6)

- 荒川で遊んだことがある子供は 3 人だった。
- 遊んだことのある子どもの利用頻度は「1 か月に 1～2 回」、「年に数回」であった。遊びの内容は「水遊び」、「虫取り」、「スポーツ」など複数の項目であった。
- 荒川を利用しない人は「目的が無い」、荒川は「汚いと思った」、「家が遠いから」と回答した。

問 F 今まで荒川で遊んだ(利用した)経験 (N=8)

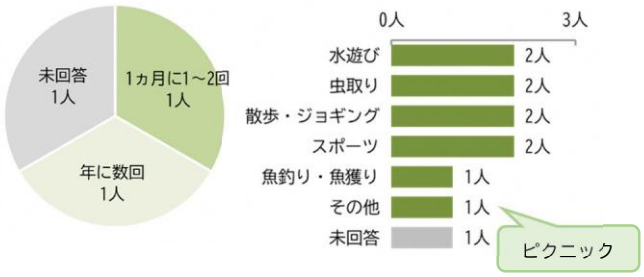
- 荒川を利用したことがある人は 4 人だった。
- 利用したことがある人の利用頻度は「1 週間に 1～2 回」、「1 か月に 1～2 回」、「年に数回」であった。利用内容は「散歩・ジョギング」、「スポーツ」、「虫取り」であった。
- 荒川を利用しない人は「遊ぶ場所がない」ためと回答した。

■ 子ども向けアンケート調査結果

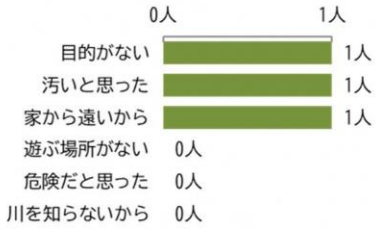
荒川で遊んだ（利用した）経験
（n=6）



遊んだ（利用した）頻度と内容※（n=3） ※複数回答可

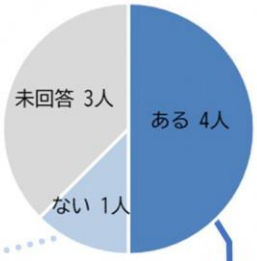


遊ばない（利用しない）理由（n=1） ※複数回答可

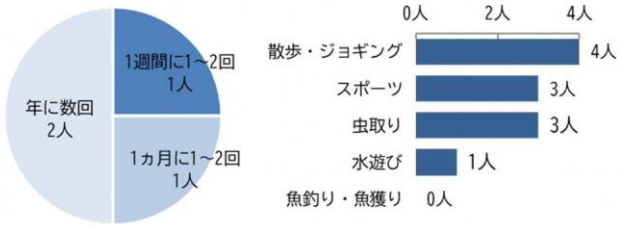


■ 保護者・見学者向けアンケート調査結果

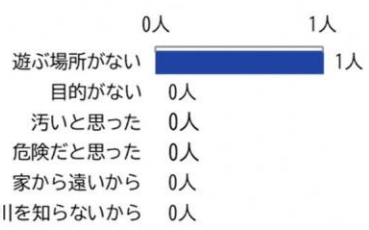
荒川で遊んだ（利用した）経験
（N=8）



遊んだ（利用した）頻度と内容※（N=4） ※複数回答可



遊ばない（利用しない）理由（n=1） ※複数回答可



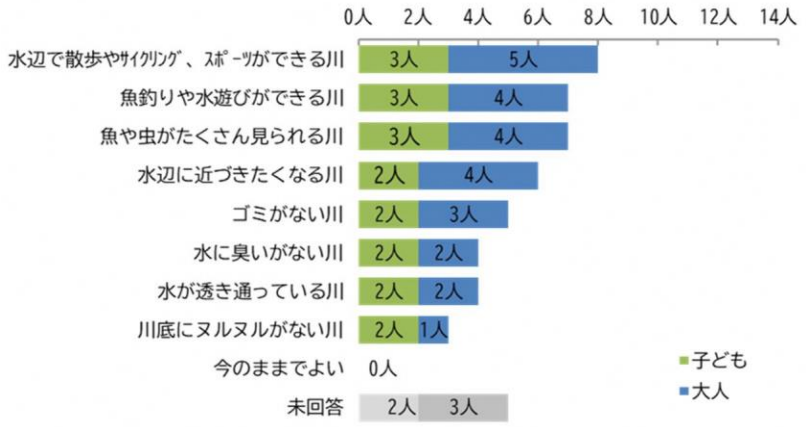
問7 荒川をどんな川にしたいか（n=6）

- 「水辺で散歩やサイクリング、スポーツができる川」、「魚釣りや水遊びができる川」、「魚や虫がたくさん見られる川」と答えた子どもが比較的多かった。
- 「今のままでよい」と感じている人はいなかった。

問 G 荒川をどんな川にしたいか（N=8）

- 「水辺で散歩やサイクリング、スポーツができる川」、「魚釣りや水遊びができる川」、「魚や虫がたくさん見られる川」と答えた人が比較的多かった。
- 「今のままでよい」と感じている人はいなかった。

荒川の目指す姿（n=6）（N=8） ※複数回答可



整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

資料2

熊谷市荒川かわまちづくり
計画書（案）

熊谷市

令和6年12月17日時点版

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

目　次

1.　市町村及び河川の概要 1
1-1　市町村等の概要 1
1-2　河川の概要 1
1-3　かわまちづくりの方針 10
1-4　推進体制・取組内容 15
1-5　安全な河川利用に向けた取組 17
1-6　都市・地域再生等利用区域の指定に関する取組 18
1-7　生物の生息・生育・繁殖の場の保全・創出に関する取組 18
2.　ソフト施策の個別施策計画書 19
2-1　河川名 19
2-2　提案事業の実施範囲 19
2-3　提案事業の概要 19
3.　ハード施策の個別整備計画書 20
3-1　河川名 20
3-2　整備範囲 20
3-3　整備内容 21
3-4　整備の実現方策 25
3-5　多自然川づくりに関する事項 26
3-6　その他特筆すべき事項 26
4.　維持管理計画書 27
4-1　持続的な有効利用に関する計画 27
4-2　維持管理計画 27

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

＜様式2＞

1.市町村及び河川の概要

1-1.市町村等の概要		
① 都道府県名	埼玉 県	
② 市町村名	熊谷 市	
③ 人口	191244 人	（令和6年10月1日時点）
④ 面積	160 km2	

1-2.河川の概要

① 荒川の河川概要

荒川はその源を埼玉県秩父山地の甲武信ヶ岳(標高2,475m)に発し、源流で大洞川、中津川、赤平川等を合わせ秩父盆地を北流して長瀞渓谷を流れた後、埼玉県大里郡寄居町において南東に流向を変え関東平野に入り、武蔵野台地の北西端から埼玉県中央部の平野を流下し、途中市野川、入間川等の支川を合わせて、東京群区部と埼玉県の低地を流れ、東京群北区志茂において隅田川を分派し東京湾に注ぐ、幹線流路延長173km、流域面積2,940km²の一級河川です。

その流域は、東京群と埼玉県にまたがり、流域内の人口は、日本の人口の約8%にあたる約1,020万人で、その多くは、沖積低地、台地、丘陵に集中している。特に東京群内の沿川の人口密度が約14,400人/km²と全国一級水系中最も高いものとなっています。流域の土地利用は森林約43%、市街地約32%、畑約8%、田約6%、河川湖沼約4%等となっています。

本計画区域は荒川の中で流れの速い中流域に該当し、対象地区一帯が扇状地となっています。

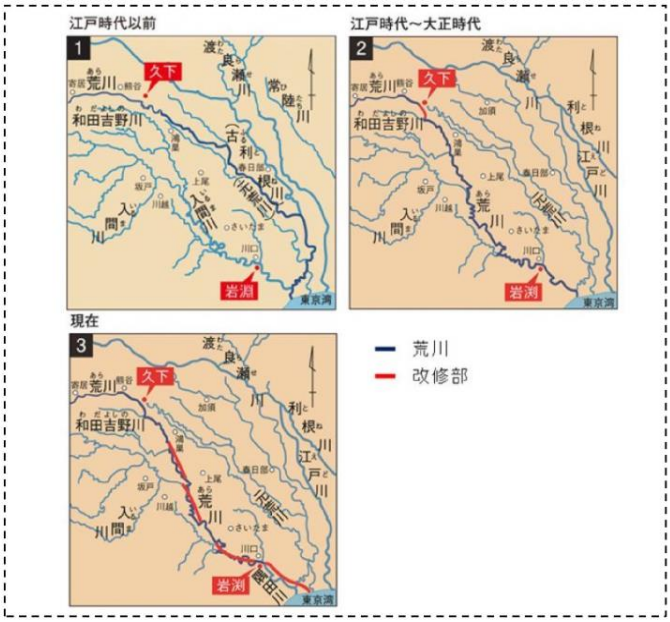
② 熊谷市荒川に関わる文化･歴史

熊谷市荒川の歴史･文化について、下記に示します。

荒川の瀬替え

江戸時代より前は東京湾に流れていた利根川の支川として、現在の元荒川筋を流れていましたが、寛永 6 年（1629 年）に荒川は熊谷市久下付近で締め切り、和田吉野川に付け替えられ、入間川筋を本流とする流れに変更されました。

下の地図は、荒川の流路の変遷をたどったものです。１が江戸時代の瀬替え以前。２が瀬替えから、荒川放水路完成まで。３が現在の荒川としています。

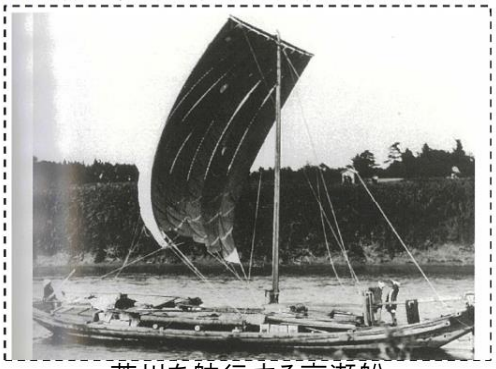


荒川の瀬替え図

荒川の舟運

後世「荒川の西遷(せいせん)」と呼ばれるこの河川改修事業は、埼玉平野の東部を洪水から守り新田開発を促進すること、熊谷・行田などの古い水田地帯を守ること、木材を運ぶ舟運の開発などを目的にしていたと言われています。

これにより舟運による物資の大量輸送は大都市・江戸の繁栄を支え、江戸の発展は後背地の村々の暮らしを向上させていきました。



荒川を航行する高瀬船

熊谷堤

16 世紀後半、現在の熊谷堤の北に地域を横断して「北条堤」と呼ばれた旧熊谷堤が荒川の洪水から町を守るために作られ、春には桜の名所として戦後まで存在しており、旧堤外地は戦前までは一面に桑畑が広がっていました。戦後の区画整理により桑畑は減少し、桜堤は崩され、松岩寺（しょうがんじ）から石上寺（せきじょうじ）、上熊谷駅、万平公園（まんぺいこうえん）から久下（くげ）まで続いた桜堤は幻になり、現在、石上寺と万平公園にその断面を残すのみとなっています。



熊谷堤位置図

図1 熊谷市荒川の歴史･文化(1/2)

さくら祭り

堤防の法面には約 500 本のソメイヨシノが植樹されており、約 2km の長い桜のトンネルをつくります。桜は“熊谷桜堤”として市民に愛されており、毎年、3 月下旬から 4 月上旬に熊谷さくら祭りが開催されています。





熊谷さくら祭り

熊谷花火大会

熊谷市の花火大会は昭和 23 年に第一回を開催して以来、70 回以上が開催されており、県内でも歴史ある花火大会のひとつです。計画地は花火大会会場の一部となっており、普段ラグビー場等として利用されている河川敷や堤防の法面は観覧席になっています。





熊谷花火大会（左：第 71 回ポスター、右：R5 年花火大会の河川の様子）

図2　熊谷市荒川の歴史･文化(2/2)

③　熊谷市荒川の自然環境

荒川は秩父山地の甲武信ヶ岳を源とし東京湾まで流れる河川です。
計画地は荒川の扇状地（扇端部）に位置し、豊富な水と肥沃な大地により、自然環境が形成されています。
上流から下流までの様々な河川環境に応じた生物が生息・生育しており、計画地には、中流部の砂礫河原特有の生物が生息・生育しています。
荒川の連続する広大な河川空間は、こうした上下流の多様な自然を繋ぐ回廊としての役割を担っています。
計画地の上流には、県内でも有数の野鳥の渡来地となっている「野鳥の森」があります。
本かわまちづくり計画検討にあたり、「荒川河川敷の保全と利用のあり方（平成6年3月）建設省荒川上流工事事務所」に則り検討しました。
熊谷市荒川の自然環境について、下記に示します。

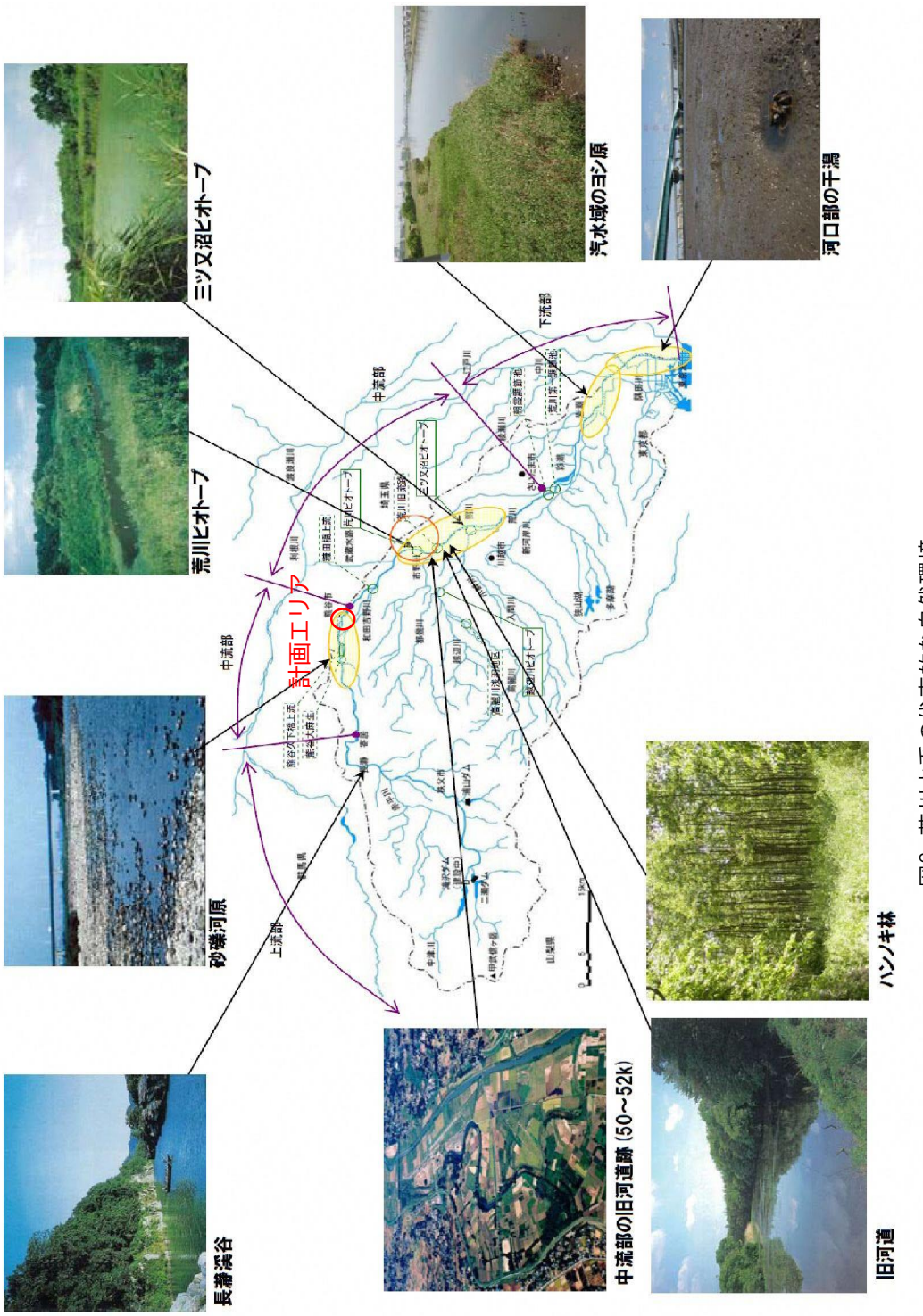


図3　荒川水系の代表的な自然環境

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り



図4　熊谷市荒川の自然環境(1/2)

荒川大麻生公園

荒川中流左岸の河川敷、熊谷市にある県営公園であり、公園全域で約 170ha、その約半分は県内でも有数の野鳥の渡来地となっている「野鳥の森」や河原特有の草花が咲き誇る「野草の広場」が広がっています。「野鳥の森」では年間を通じて 100 種類以上の野鳥を観察すること可能です。また、「野草の広場」では春から秋にかけて河原特有の希少な植物を観察することができ、荒川流域で最も豊かな自然のある公園となっています。



位置図

野鳥の森

スギ・クヌギなどの針葉樹や落葉樹に混じり、アラカシなどの照葉樹が生育していて、暑い熊谷の夏でも涼しい木陰を提供しています。野鳥は、冬にアカゲラ・アカハラ、春と秋の渡りの時期にはキビタキ・オオルリなど森林性の野鳥が見られます。



アカゲラ



キビタキ

野鳥の広場

公園内の荒川に近い草地で、カワラナデシコ・カワラヨモギなど、減少の著しい河原特有の希少な植物のお花畑となっています。特にピンクの可憐な花をつけるカワラナデシコについては、県内の平野部では最大の自生地となっています。



カワラナデシコ



カワラヨモギ

図5　熊谷市荒川の自然環境(2/2)

④　熊谷市及び周辺地域の魅力の整理

熊谷市及び周辺地域の魅力に精通した地元意見等を把握し、当該エリアならではのローカルな魅力や広域連携･周遊の魅力を発掘し、かわまちづくり計画に反映します。

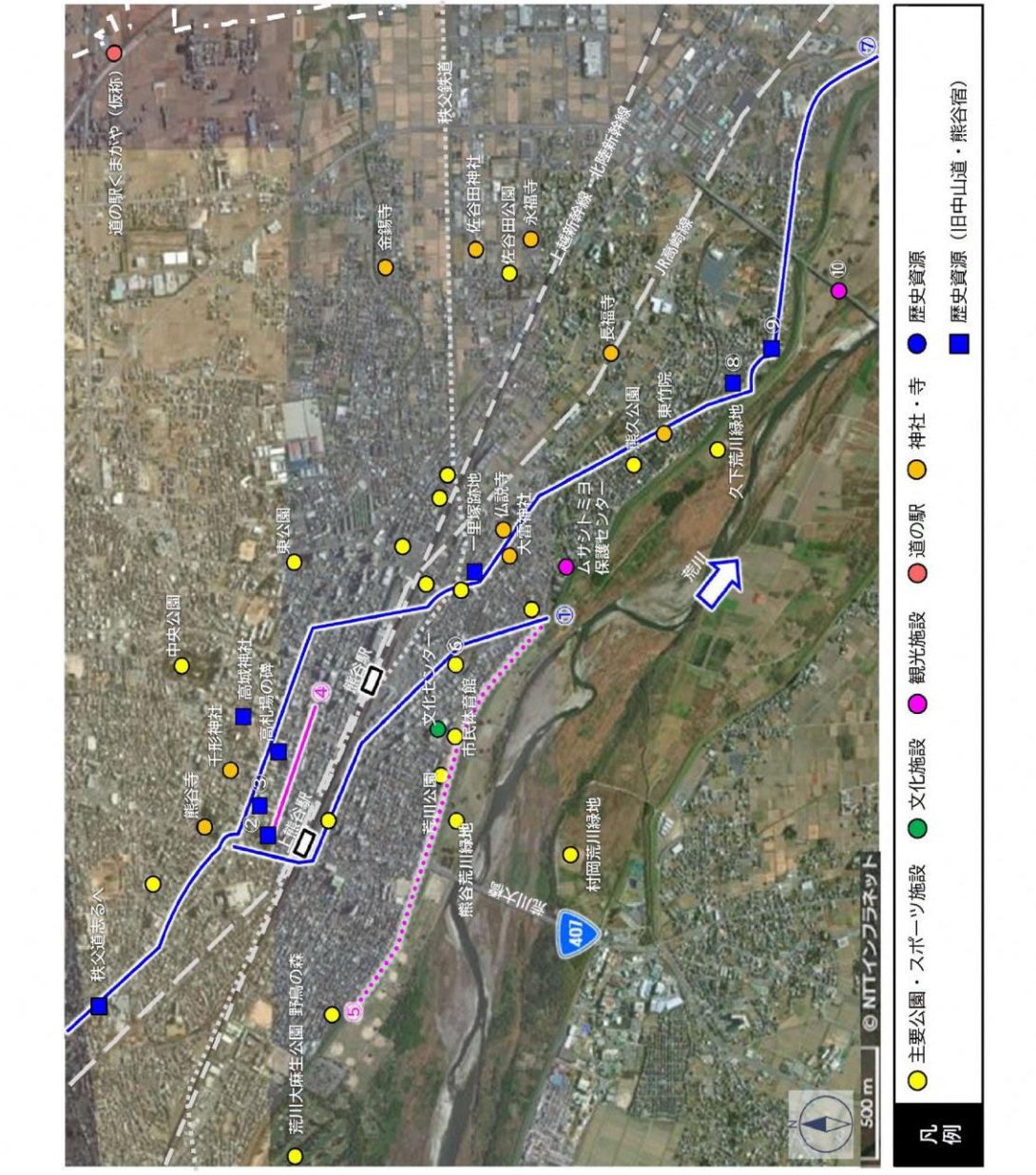
表1　地域の魅力の抽出の視点

視点（案）		地域の魅力	
熊谷市	交通利便性	・新幹線が利用でき、東京駅まで 39 分、また、東北道や関越道等の IC まで 30 分以内と、交通アクセスが良く、ショッピング施設も充実している便利な街である。	
	歴史・文化	中山道、熊谷宿、龍泉寺、戦災復興、絹産業、米と麦の二毛作	
	食	・地下水が豊富で水道水のおいしさが有名 ・加えてそのおいしい水を使ったかき氷「雪くま」は、市内外の来訪客の魅力の一つになっている。 ・さらに、食材の宝庫でもあり、新鮮で栄養たっぷりの野菜や米、麦などが安く手に入る。 ・郷土食（熊谷うどん、すいとん）、雪くま（暑さ対策）	
	自然環境・景観	・利根川や荒川などの水辺に囲まれた自然豊かな環境を有している。 ・荒川の水辺と緑、オープンスペース、花の名所（熊谷桜堤）	
	観光施設	スポーツ・文化・健康拠点・観光交流拠点：熊谷スポーツ文化公園（ラグビー場・陸上競技場）、熊谷市スポーツ文化村「くまピア」、熊谷さくら運動公園、武蔵丘陵森林公園、上記を周遊するスポーツ・文化・健康の連携軸（自転車道等）、妻沼聖天山、星溪園、仮称）北部地域振興交流拠点 自然資源：荒川大麻生公園野鳥の森	
	スポーツ	・ラグビーワールドカップ 2019 開催都市として「ラグビータウン熊谷」を世界に発信し、大会後も、熊谷ラグビー場では、日本代表戦やトップリーグの試合が数多く予定されており、スポーツを実践・観戦しやすい環境が整っている。 ・ラグビー、スカイスポーツ、サイクリング（荒川）	
	地域の活動・イベント	・1 年を通してたくさんのイベントや祭りが行われている。 観光・商業振興：熊谷さくら祭り（３月）、熊谷花火大会（8 月）、うちわ祭り（7 月伝統行事）、えびす大商業祭り（11 月）地域イベント（星川夜市（月１回）） スポーツ　：熊谷さくらマラソン大会（3 月） 子育て支援・福祉：くま SUN フェスタ（11 月子育て支援イベント） 歴史・文化・戦災伝承：熊谷初市・星川だるま市（1 月熊谷宿）、星川とうろう流し（8 月　戦災伝承） かわの清掃活動：リバークリーン活動等	図
周辺地域	広域連携・周遊	・埼玉県北部地域地方創生推進協議会 ・荒川を軸とする上下流の広域連携（サイクリングロード、水上スポーツ） ・利根川自転車道との連携 ・他自治体の荒川のかわまちづくり（北本高尾地区かわまちづくり） ・中山道を軸とする連携（深谷宿） ・隣接市、県との広域連携（群馬県、東京都、県内他市）	

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

⑤　市民や民間事業者による河川利活用状況及び周辺の観光資源

現状の河川利活用状況及び周辺の観光資源は次頁の通りである。



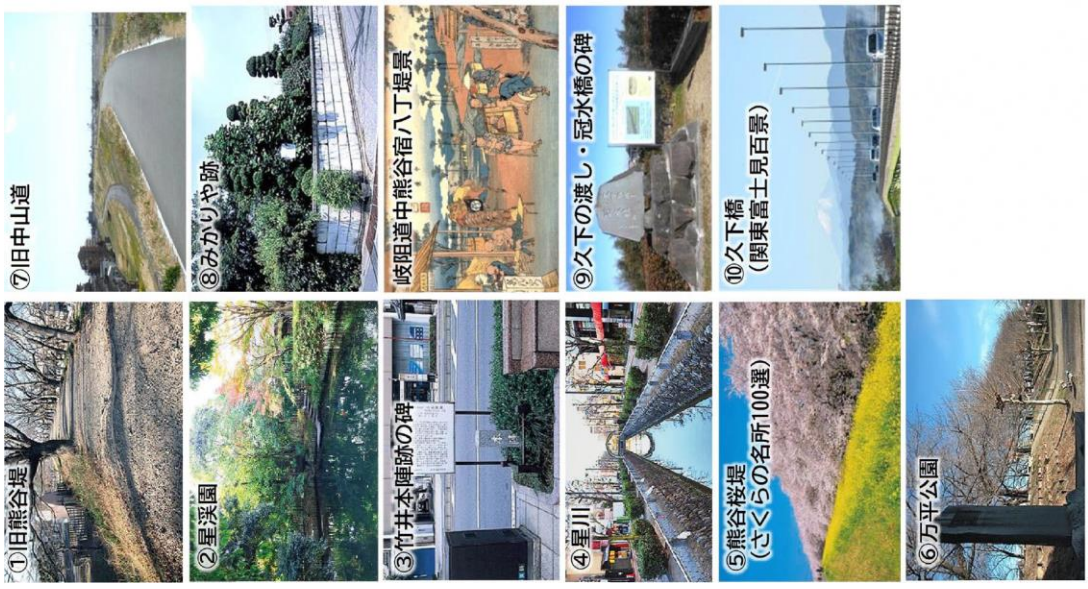


図6　河川の利活用状況及び周辺の観光資源(1/2)

①熊谷さくら祭
時期：4 月
場所：荒川堤(中心市街地区域周辺)
概要：日本さくら名所百選に選ばれた熊谷の桜は、「名勝 熊谷桜堤」として、人々に親しまれており、開花時期には、近隣から 14 万人もの人々が集う春の一大イベントとなる。
さくら祭開催時期には、多くの見物客が中心市街地に訪れ、中心市街地も活気にあふれている。



②熊谷うちわ祭・熊谷えびす大商業祭
時期：7 月
場所：中心市街地内
概要：延べ 75 万人の集客を誇るのが、7 月 20 日から 3 日間行われる八坂神社例大祭のうちわ祭。12 台の山車・屋台が熊谷囃子とともに市街地を巡行する様子は、その絢爛豪華さから関東一の祇園祭と称されている。
クライマックスである 3 日目の夜には、あちらこちらの街角で引き合わせ叩き合いが繰り広げられながら、山車と屋台がお祭広場に集結する。ライトアップされた山車・屋台、数万人の人の波、夜空に響きわたるお囃子と歓声が、訪れた人の誰をも熱く燃えさせる。

③熊谷花火大会
時期：8　月
場所：荒川河畔(中心市街地区域周辺)
概要：毎年 8 月の第 2 土曜日に、10,000 発ものスターマイン等の花火を打ち上げる。約40万人が訪れ、関東一の花火大会との定評がある。
花火大会当日には、多くの見物客が中心市街地に訪れ、中心市街地も活気にあふれている。







時期：11月
場所：中心市街地内
概要：商店主が中心となり、商売繁盛を願ってえびす大黒の木像を先頭にした稚児行列や民謡流しなどが行われ、約 20 万人の人出がある。



④とうろう流し・⑤星川夜市
時期：8 月
場所：星川
概要：昭和 20 年 8 月 14 日深夜、熊谷に米軍による太平洋戦争最後の空襲が行われ、市街地の 3 分の 2 が焼き尽くされ、266 名が亡くなり、特に星川付近の被害は甚大で、悲惨の極みであった。戦後の昭和 25年より、犠牲になった人々の霊を慰めるために、とうろう流しが始まった。毎年約 5 千人の人出がある。



⑦熊谷さくらマラソン大会
時期：3 月
場所：荒川堤(中心市街地区域周辺)
概要：熊谷さくらマラソン大会は、毎年3月下旬の日曜日に開催します。コースは熊谷さくら運動公園を発着とした市内特設コースを使用し、桜の開花と重なれば花見ランも楽しむことができます。
全国から1万人近いランナーが集う本大会は、各部門1位から10位までの表彰（親子マラソンは除く）のほか、特別賞やお楽しみ抽選会、とん汁・コーンスープのサービスなどもご用意しております。



⑥星川だるま市
時期：2 月
場所：星川通り
概要：毎年 2 月 7 日に星川の流れを背にして、だるま店が並ぶ。起源は江戸時代に熊谷宿の繁栄を願って始められたといわれており、毎年約 5 千人の人出がある。市内では星川のほか、三ヶ尻龍泉寺、東漸寺、聖天山、玉井神社などでも開かれている。



図7　河川の利活用状況及び周辺の観光資源(2/2)

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

1-3.かわまちづくりの方針

① 地域における課題、必要性

・熊谷らしさ(水辺やまちの魅力・歴史文化)の情報発信、まちへの愛着の醸成

・都市拠点の魅力・活力の充実による定住促進、多様な世代の交流人口・関係人口拡大

・荒川の豊かな自然環境の保全と継承

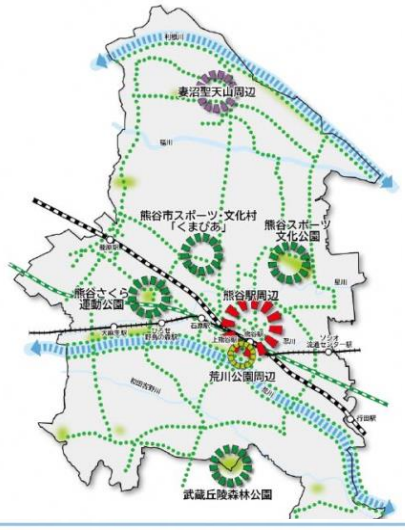
・かわ・まち・駅空間の一体的な安全・安心まちづくり(ハード・ソフト)

② 市町村の地域計画や沿線地域のまちづくりの中での河川の位置づけ

・熊谷市都市計画マスタープラン(R4.3策定)

・計画地周辺は、自然の中でスポーツや文化に親しみ愛着の持てるまちを実現する都市構造として、荒川公園周辺再整備事業と一体で新スポーツ・文化・健康拠点に位置づけられ、荒川高水敷、荒川、堤防道路はそれぞれ下記に位置づけられています。
荒川高水敷:公園・緑地ゾーン
荒川:水辺の軸、　堤防道路:スポーツ・文化・健康の連携軸
また、荒川緑地は安心して暮らせる安全なまちを実現する都市構造において、広域避難場所に位置づけられています(地震による大きな火災が発生した場合などの大規模な避難に適した緑地)。

«配置イメージ図»



新スポーツ・文化・健康拠点(荒川公園周辺)

◇都市拠点に近接する強みを生かし、市民のスポーツ・文化活動の支援や、交流人口の拡大を図る拠点です。
◇「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「ささえるスポーツ」を通じ、地域の誇りを感じる空間です。

②ゾーン

公園緑地ゾーン

◇市民生活に潤いとやすらぎを提供するために、積極的に活用を図るゾーンです。
«設定箇所»
妻沼運動公園、別府沼公園、利根川総合運動公園、荒川大麻生公園、江南総合公園
熊谷スポーツ文化公園、熊谷さくら運動公園、熊谷荒川緑地、熊谷桜堤、桜リバーサイドパーク、大沼公園、武蔵丘陵森林公園

③軸

水辺の軸

◇自然に親しみながら潤いや解放感を感じ、スポーツ・観光・文化を楽しむことができる空間です。
◇日常生活でスポーツ等を楽しみ、地域に愛着を感じる空間です。
«設定箇所»
利根川、荒川

スポーツ・文化・健康の連携軸(自転車道)

◇水辺やスポーツ・文化・健康拠点及び観光交流拠点間をつなぎ、自転車での周遊を楽しむ軸です。

«配置イメージ図»



広域避難場所

◇地震による大きな火災が発生した場合などの大規模な避難に適した公園、緑地等です。今後、公共施設の再編によって生じる大規模な公有地では、広域避難場所の拡充の可能性を検討します。
※洪水時には利用できない場所があるため、水害時の避難については防災ハザードマップによることとします
«設定箇所»
熊谷スポーツ文化公園、熊谷さくら運動公園、熊谷荒川緑地、別府沼公園
妻沼運動公園、江南総合公園

出典:熊谷市都市計画マスタープランR4.3

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

（2）地域の将来像

ヒト・モノが集まり、めぐることで、誰もが暮らしやすい地域

ヒト・モノが集まり・めぐることで、新しい産業やまちの魅力が生まれる中心的な地域を形成します。また、利便性が高い環境を生かし、全ての世代の人々が暮らしやすい地域を形成します。

（3）地域のまちづくり方針

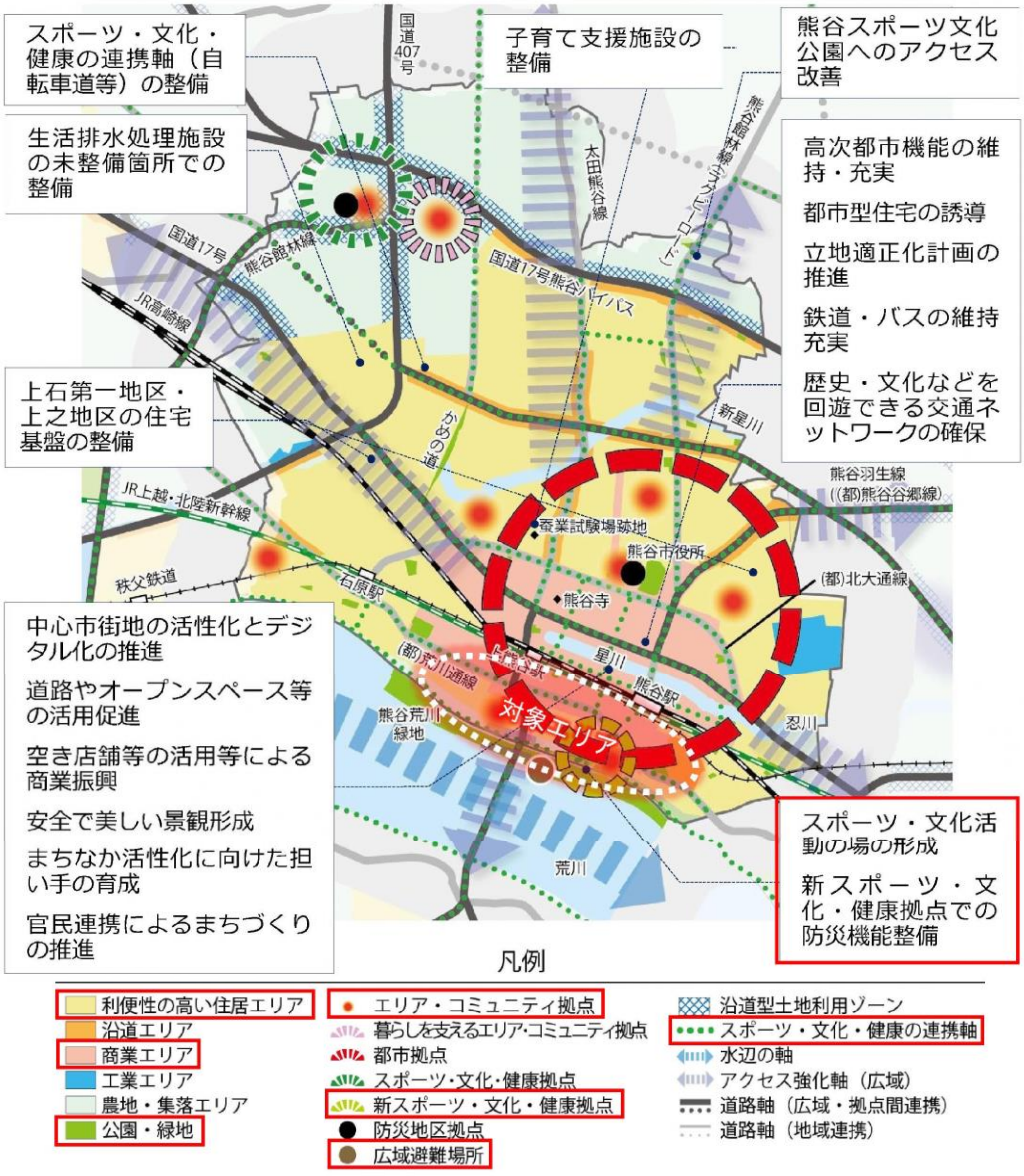


図8　ゾーニング図

出典：熊谷市都市計画マスタープラン令和4年3月

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

・「荒川公園周辺再整備基本計画(案)」では、荒川公園及び体育館の整備において下記に示す概略モデルプランが定められています。

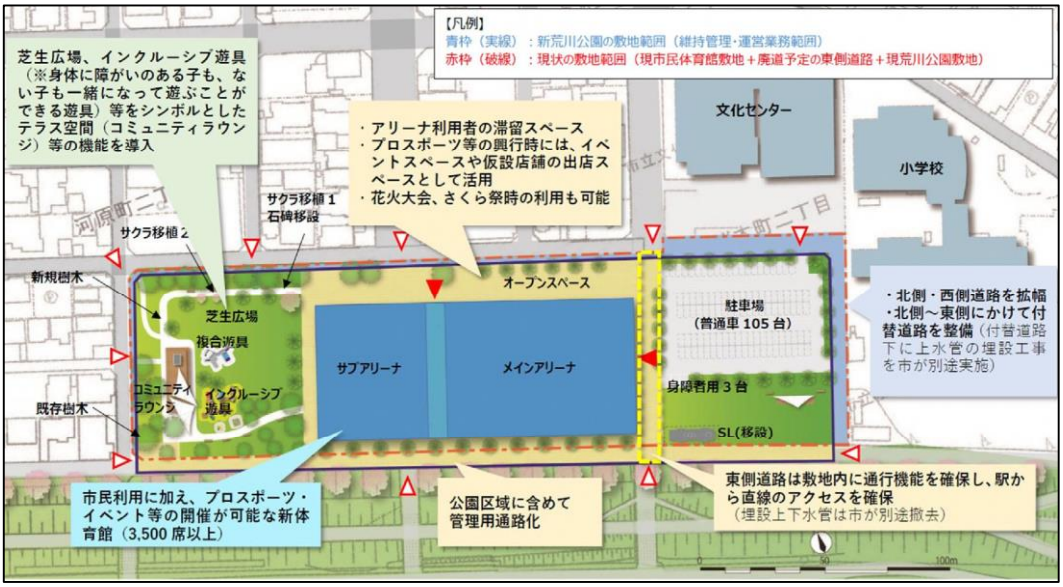


図9　概略モデルプラン

出典:荒川公園周辺再整備基本計画(案)p30

③　地域活性化や賑わいあるまちづくりに対する市町村や民間事業者の考え方

・居住地や世代が異なるなど、多様な主体の地域ニーズの把握のため、市民アンケート調査、自治会アンケート調査を実施しました。また、社会実験開催時にもアンケート調査を実施しました。

調査名	対象	調査方法	実施日	回答数	調査項目
市民アンケート	熊谷市内の在住者	Webモニターアンケート	令和5年11月20日～令和5年11月30日	400件	・対象エリアの利用状況 ・かわまちづくりへの期待 ・問題箇所等に関する自由意見等
自治会アンケート	対象エリアに隣接した自治会(河原町、桜木、万平町一丁目、万平町二丁目第1～第3自治会)827世帯	回覧	令和6年1月～令和6年2月	413件 (回収率49.9%)	・対象エリアの利用状況 ・かわまちづくりへの期待 ・問題箇所等に関する自由意見
社会実験アンケート	社会実験参加者のうち中学生以上	アンケート用紙	令和6年10月6日	39件	・社会実験の感想 ・かわまちづくり計画へのご意見
	社会実験参加者のうち小学生以下	意見カードへの記入		18件程度※	・みずべ利用チャレンジアンケート（楽しかったコーナーとその感想） ・かわまちづくりへのみんなの意見
	荒川自然観察会のうち小学生	アンケート用紙	令和6年10月26日	6件	・自然観察会の感想 ・かわまちづくり計画へのご意見
	荒川自然観察会のうち保護者･見学者	アンケート用紙		8件	・自然観察会の感想 ・かわまちづくり計画へのご意見

※複数回答可であったため想定される人数を記載

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

④ ゾーニングと機能設定

・本計画における「基本方針」「整備方針」「ゾーン設定と各ゾーンの主要機能」を下記に示します。

基本方針	整備方針	ゾーン設定と各ゾーンの主要機能
基本方針１ 地域と共創 地域との共創により、地域の魅力、愛着と誇りを育むかわまちづくりを目指します。	**整備方針1-1　熊谷らしさ、つながり** ・熊谷らしさ（水辺やまちの魅力、観光資源、自然環境、歴史文化）を活かし、地域の魅力を充実する空間づくりを目指します。 ・子どもから大人まで多様な人との出会いと交流を育む憩いの空間の創出を目指します。	**■スポーツ健康文化交流ゾーン** ・荒川の自然や水辺の涼を身近に感じながら、誰もが自由にスポーツ（する・みる・ささえる）や健康づくりを楽しむ機能を充実します。 ・地域交流や防災イベント等の多様なイベント開催を支援する機能を充実します。
	整備方針1-2　地域振興・健康づくり ・荒川の自然の中で、誰もが自由にスポーツ（する・みる・ささえる）や健康づくりを楽しむ空間の創出を目指します。 ・周辺まちづくり計画との連携やまちとのつながりを重視します。	**■水辺の憩いゾーン** ・水辺を眺め、安らぎや涼を感じられる水辺の憩いの機能を充実します。 ・安全性や環境配慮に留意したアウトドアや健康づくりイベントなどを楽しむ親水機能を充実します。
	整備方針1-3　自然環境・風景 ・荒川と山並みによって創り出す美しい風景を守るとともに、生物多様性の保全や温室効果ガスの吸収等に寄与する都市空間における貴重な緑地・水辺空間である荒川の豊かな自然環境を保全・創出・継承します。 ・未来を担う子供たちが荒川の自然環境と触れ合える空間を充実し、自然環境を守り育てる担い手づくりを目指します。	**■自然環境保全・環境学習ゾーン** ・荒川の豊かな自然環境・風景を守り、生物多様性を高める機能（多自然川づくり・在来野草による自然環境）を充実します。 ・水辺の楽校など、子供たち等の地域の人が荒川を環境学習の場として活用する機能（安全な浅瀬・アクセス等）を充実します。
基本方針２ 安全・安心 地域の安全・安心に寄与します。	**整備方針2-1　安全・安心** ・堤防整備（嵩上げ・拡幅・側帯盛土）により、洪水時の災害リスクを減らし地域の防災力を高めます。	**■歴史文化体験ゾーン** ・荒川とまちに関わる歴史文化の魅力の情報発信や往時に想いを馳せる空間・体験機会等を充実します。 （荒川の治水遺産（荒川西遷、旧熊谷堤）、舟運と中山道の歴史、浮世絵に描かれている中山道中の御狩屋の賑わい等）
	整備方針2-2　水害・災害学習 ・過去の水害の歴史、災害リスクを学習し、災害を自分事化し、地域の防災・減災対策を地域と行政が一体となって考え、取り組むことを目指します。	

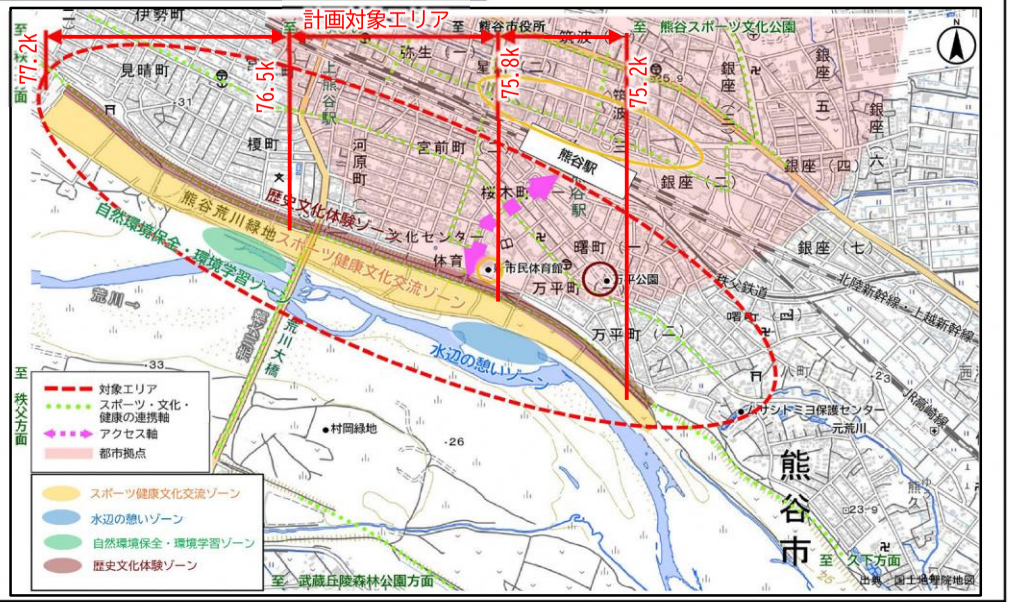


図10　ゾーニングと機能設定

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

⑤　地域活性化や賑わいあるまちづくりに資する定量的目標

指標	従前値	目標値
防災活動	1回/年	2回/年
地域交流イベント開催回数	2回/年	3回/年
健康マイレージ事業参加者数	1,500人/年	1,800人/年
自然体験･学習、荒川清掃活動の参加人数	800人/年	1,000人/年

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

1-4.推進体制･取組内容

① 協議会、運営組織等の体制(図)

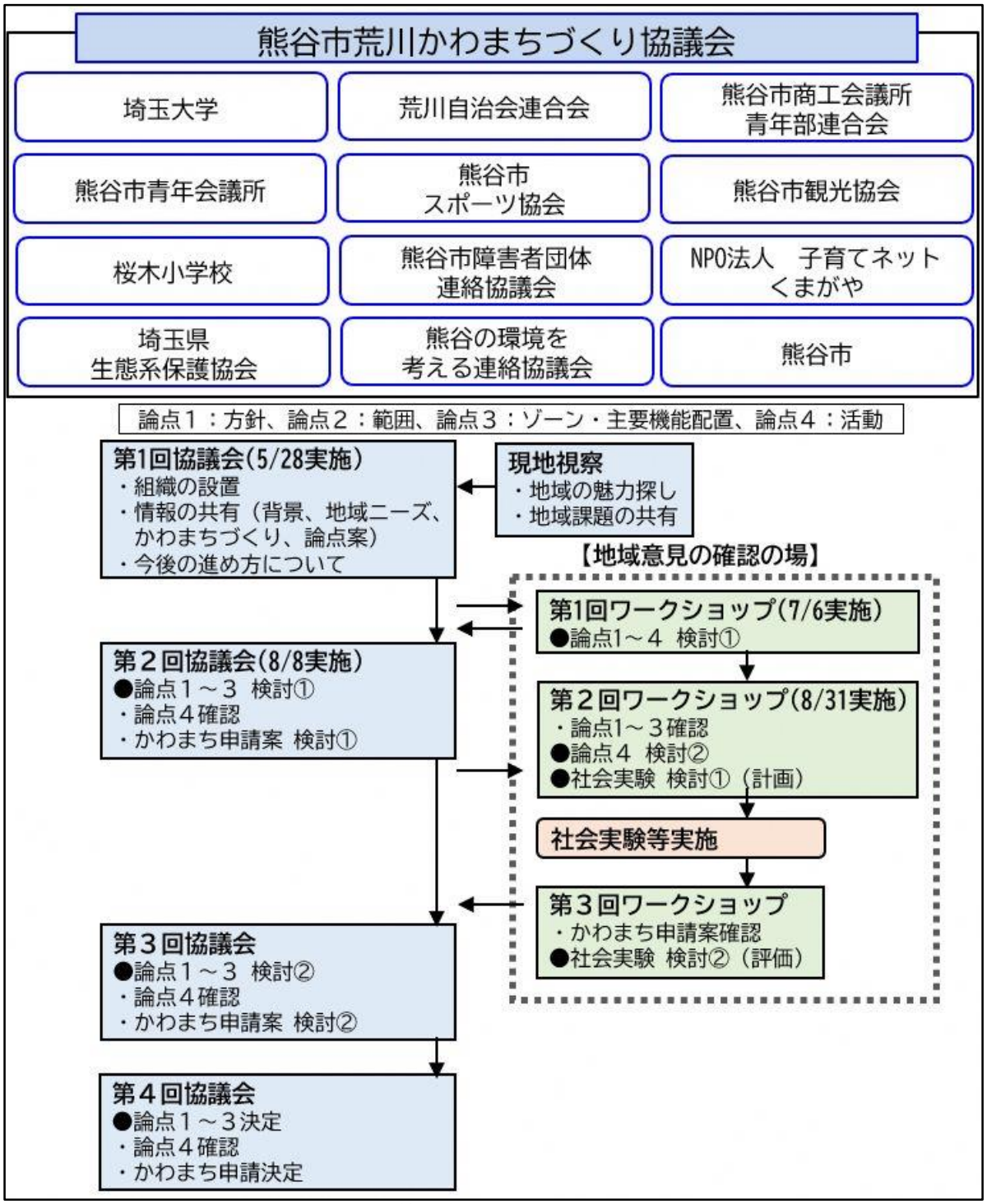


図11 協議会、運営組織等の体制図

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

② 地域活性化や賑わいあるまちづくりに資する多様な関係者との連携･取組内容（表）

表2 関係者との連携･調整の場となる組織と委員構成

名称	分野	団体名
熊谷市荒川かわまちづくり協議会 （委員数 12名）	学識経験者	埼玉大学大学院 理工学研究科 環境社会基盤専攻 （兼）社会変革研究センター レジリエント社会研究部門
	地区を代表する者	荒川自治会連合会
	商工産業	熊谷商工会議所、一般社団法人 熊谷青年会議所
	スポーツ振興	公益財団法人 熊谷市スポーツ協会
	観光振興	一般社団法人 熊谷市観光協会
	教育	熊谷市立桜木小学校
	福祉子育て	熊谷市障碍者団体連絡協議会 NPO法人 子育てネットくまがや
	環境	公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 NPO法人 熊谷の環境を考える連絡協議会
	市職員	熊谷市建設部河川課

表3 協議会の開催経緯

協議会	日程	主な議題
第1回	令和6年5月28日	組織の設置、情報の共有、今後の進め方
第2回	令和6年8月8日	･論点1（方針）、論点2（範囲）、論点3（ゾーン･主要機能配置）の検討① ･論点4（活動）の確認 ･かわまち申請案の検討①
第3回	令和6年12月17日（予定）	･論点1（方針）、論点2（範囲）、論点3（ゾーン･主要機能配置）の検討② ･論点4（活動）の確認 ･かわまち申請案の検討②
第4回	令和7年〇月（予定）	･論点1（方針）、論点2（範囲）、論点3（ゾーン･主要機能配置）の決定 ･論点4（活動）の確認 ･かわまち申請案の決定





整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

表4 ワークショップの開催経緯

ワークショップ	日程	主な議題	参加人数
第1回	令和6年7月6日	・論点1(方針)、論点2(範囲)、論点3(ゾーン・主要機能配置)、論点4(活動)の検討①	25人
第2回	令和6年8月31日	・論点1(方針)、論点2(範囲)、論点3(ゾーン・主要機能配置)の確認 ・論点4(活動)の検討② ・社会実験の検討①(計画)	25人
第3回	令和6年11月30日	かわまちづくり申請案の確認 ・社会実験の検討②(評価)	24人





1-5.安全な河川利用に向けた取組

・ 令和6年度に実施した熊谷市荒川かわまちづくり社会実験(荒川自然観察会R6.10.26 実施)において、河川管理者および桜木小学校の協力のもと、小学生児童及び保護者を対象に、自然観察会と合わせて「楽しみながら学ぶ川の安全教室」を実施しました。
本社会実験の取組を踏まえ、次年度以降も引き続き協議会、河川管理者により詳細を協議し、継続的な活動として取組予定です。







整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

1-6.都市・地域再生等利用区域の指定に関する取組

・都市・地域再生等利用区域
ソフト施策のメニューに、「公園機能を充実する民間事業者の占用の誘致」を挙げている(例.バーベキュー場等の運営管理のサービスを提供する事業者等)。今後の検討を踏まえ、引き続き協議会、河川管理者により詳細を協議して対応を決定します。

1-7.生物の生息・生育・繁殖の場の保全・創出に関する取組

・

生物の生息・生育・繁殖の場の保全・創出に関する取り組み、多自然川づくりに関する事項
自然環境保全・環境学習ゾーンを設定し、下記のメニューを計画しております。
令和6年度に実施した熊谷市荒川かわまちづくり社会実験(荒川自然観察会R6.10.26実施)において、河川管理者および桜木小学校の協力のもと、小学生児童及び保護者を対象に、自然観察会また、令和6年度に実施した社会実験(荒川自然観察会)を実施しました。
本社会実験の取組を踏まえ、次年度以降も引き続き協議会、河川管理者により詳細を協議し、継続的な活動として取組予定です。

●荒川中流域の自然環境特性を踏まえた生物多様性を高める空間整備(多自然護岸＋捨て石設置)
・多自然護岸(覆土型のハイブリッド型グリーンインフラ)と捨て石により、土砂が自然堆積し、湿地環境が形成されることにより、在来種による水際環境(エコトーン)の形成を促し、河川の生物の生息環境の充実を図ります。
●子どもたちが安心して水辺に触れ合える水辺空間の整備(散策路(舗装なし)、階段(低水護岸))
●荒川および河川敷地の豊かな自然環境の保全、創出を目指す環境学習活動の充実(学校連携、市民参加)
・熊谷市荒川の豊かな自然環境の情報発信
・市民参加型の自然環境保全活動の充実
・自然環境保全の担い手育成(持続的な取り組み)

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

＜様式3＞

2.ソフト施策の個別施策計画書

2-1.河川名

① 荒川水系　　荒川

2-2.提案事業の実施範囲

① 熊谷市（荒川左岸75.8k～76.5k）

2-3.提案事業の概要

熊谷市を占用許可者として、行政や地元関係者、有識者等から構成する「熊谷市荒川かわまちづくり協議会」により検討を実施しながら、民間事業者と連携して河川空間の活用を図っていきます。ソフト施策では、地域活性化や賑わい創出に資するように①地域の利用、②来訪者等の利用（イベント等）、③広域利用者の立寄・発着地としての活用の 3 つの視点から検討、展開していきます。

【地域の利用】

① 地域の歴史の伝承と地域の憩いの場としての利用

・ 地域の歴史の伝承の場としての利用（旧熊谷堤や中山道の歴史を活かした回遊ルートの案内看板、フットサインの整備）

・ 過去の水害の歴史や、治水遺産を解説する案内看板の設置

② 防災活動

・ 地域の防災訓練・防災教育活動の支援

・ 川の安全教室活動の支援

【来訪者等の利用（イベント等）】

③ イベントの展開

・ さくら祭、花火大会等の往来の行事の継続的実施

・ 地域イベント・集客イベント開催支援

・ SNS等を利用した地域の情報発信

④ 屋外レクリエーション活動

・ バーベキュー利用スペースの貸出

・ 課外学習活動等での利用

⑤ 親水利用

・ 水辺へ近づき、釣り

・ 水辺利用（カヌー等）

【広域利用者の立寄・発着地としての活用】

⑥ サイクリング利用（立ち寄り拠点化・まちなか「散走」への誘導）

・ サイクリング利用者の立ち寄り利用の促進（休息、飲食、メンテナンス）

・ 自転車を活用した市内の歴史地点や街道等を巡る「散走」への誘導

⑦ 歴史をテーマとした散策利用（広域連携利用）

・ 旧熊谷堤や中山道をたどる広域歴史散歩・散走

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

＜様式4＞

3.ハード施策の個別整備計画書

3-1.河川名

① 荒川水系　　荒川

3-2.整備範囲

① 熊谷市（荒川左岸75.8k～76.5k）

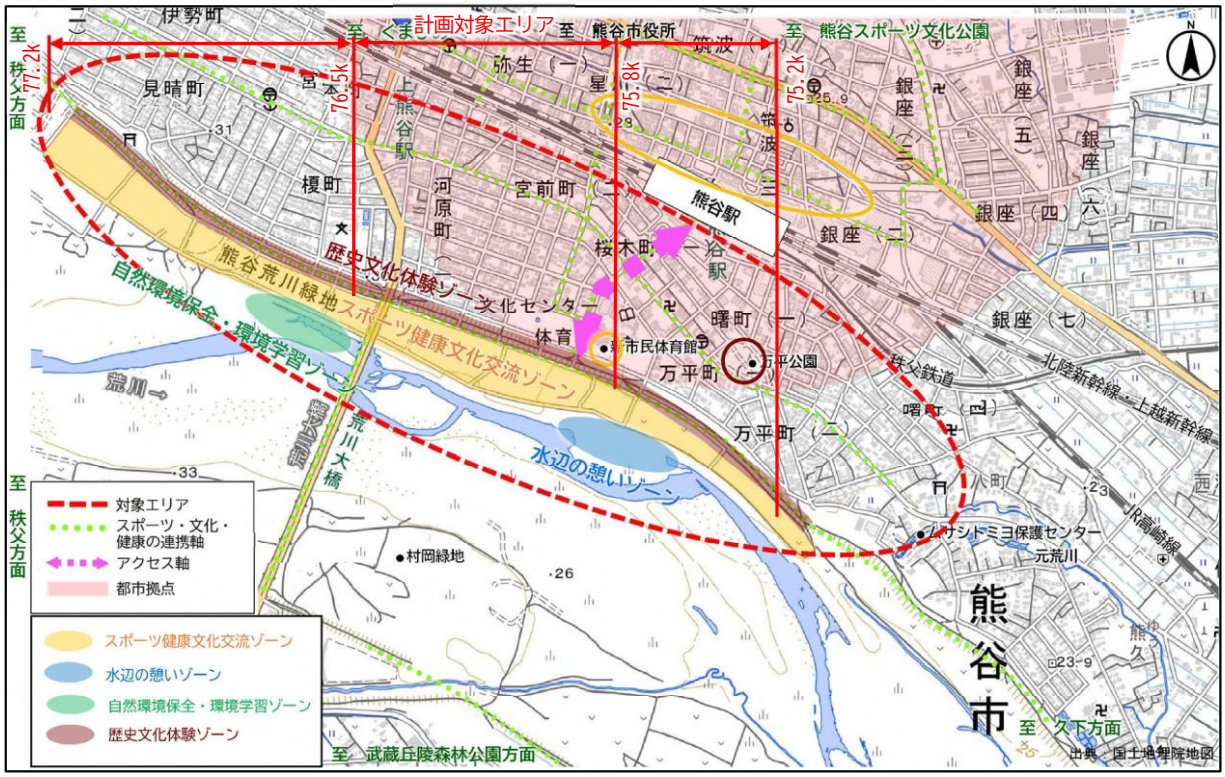


図12　熊谷市かわまちづくりゾーニング図

3-3.整備内容

次の施設の整備を検討します。

表5　熊谷市かわまちづくり計画役割分担表

	熊谷市	国土交通省
ソフト	●地域の防災活動の充実 ●堤防散策の魅力づくりの活動充実 ●公園機能を充実する民間事業者の占用の誘致 ●交通安全、防犯対策自転車の交通ルール・マナー周知活動や交通安全活動充実 ●地域交流・健康づくり、スポーツイベント活動の充実 ●川に親しむ水辺のアクティビティイベントの活動の充実 ●川の安全な利用の普及活動の充実 ●荒川及び河川敷地の豊かな自然環境の保全、創出を目指す環境学習活動の充実 ●熊谷桜堤など風景の保全、継承の活動支援 ●歴史資源を活用したまちとの連携の活動充実 ●水災害の歴史、治水遺産の情報発信の充実	●地域の防災活動の充実 ●川の安全な利用の普及活動の充実
ハード	●休憩施設（②・⑧） ・トイレ ・ベンチ ・あずまや ●体育館と堤防を繋ぐ連絡通路（⑦） ●荒川緑地再整備 ・駐車場（⑨） ・スポーツ施設・広場等の維持充実 ドッグランの整備（⑩） ●水辺利用 ・水辺の散策路（⑫） ●情報発信施設（⑪） ・各種サイン ・誘導路面標示 ●地域文化伝承施設 ・桜堤の保全（⑯） ●堤防天端 ・歩行者、自転車の通行分離表示（①） ・堤防道路の街灯整備（⑤）	●堤防整備（嵩上げ、拡幅） ●階段式護岸（⑥） ●側帯 ●坂路（堤防 川表・裏、自転車・緊急車両用）（④） ●坂路（堤防 川表・裏、バリアフリー対応）（③） ●階段（堤防 川表・裏）（③） ●水辺利用 ・親水護岸（⑬） ・捨石（⑬） ●自然学習環境 ・散策路（舗装なし）＋階段整備（⑮） ・多自然護岸＋捨石設置（⑭）

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

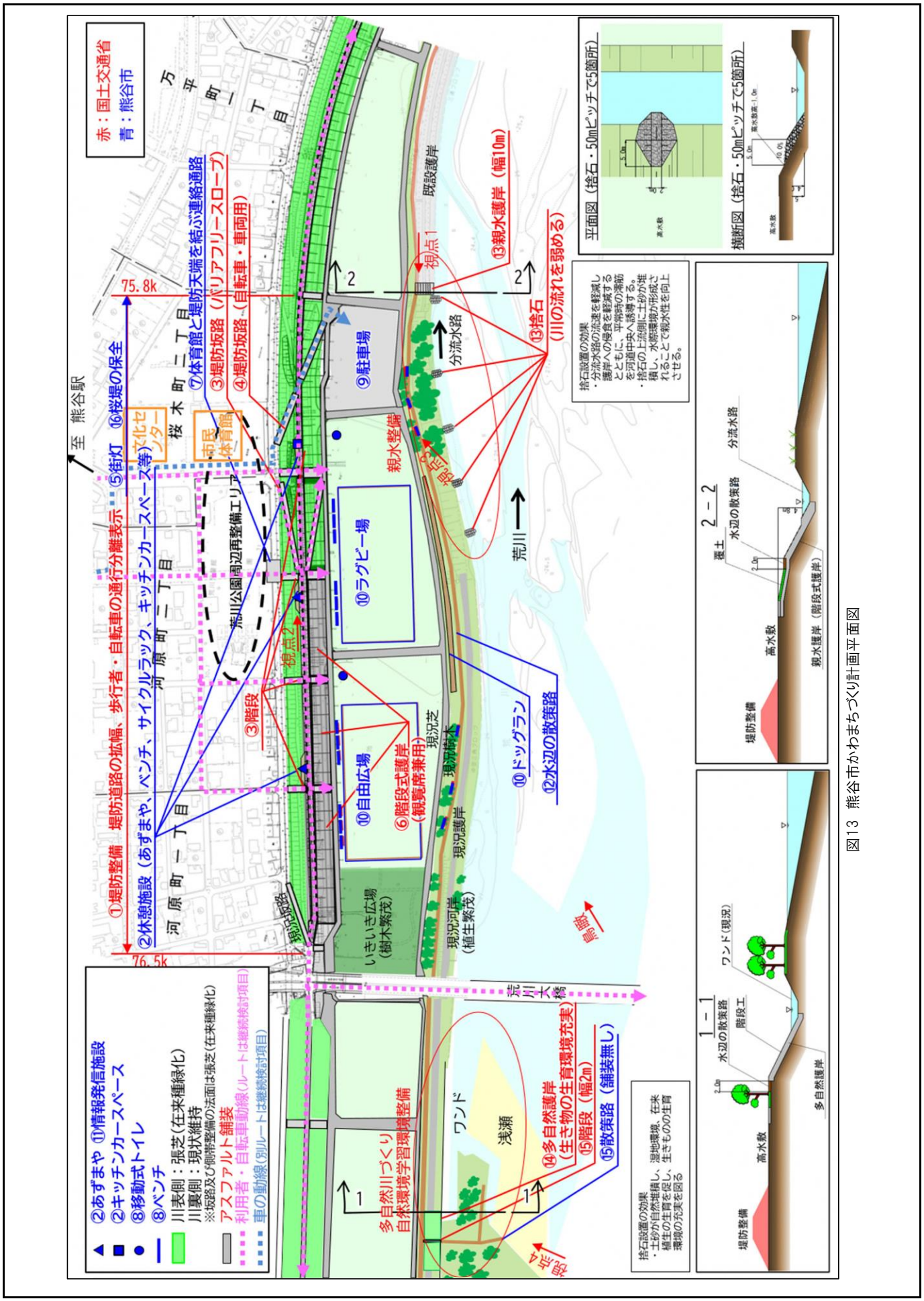


図13 熊谷市かわまちづくり計画平面図

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

全体鳥瞰図

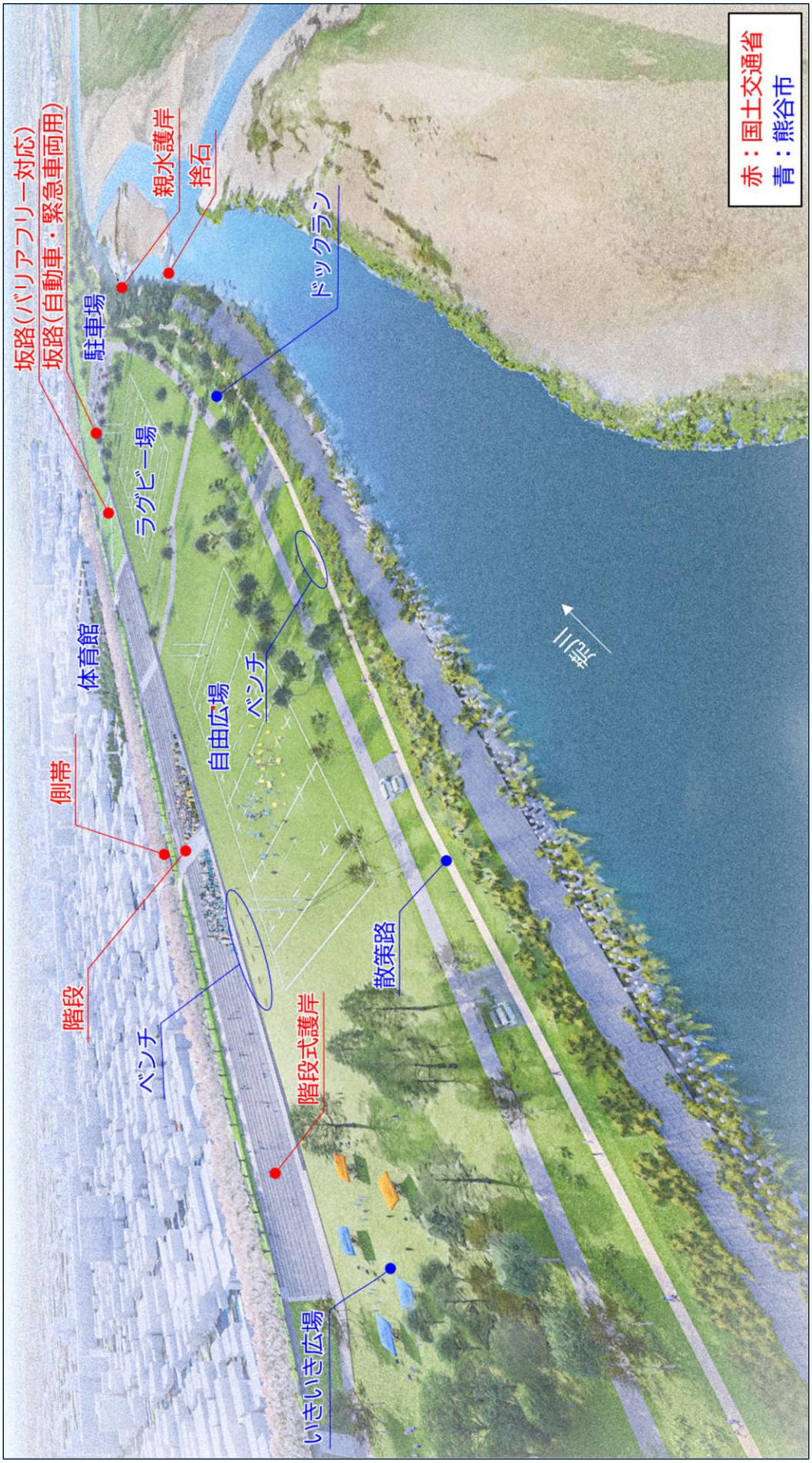


図14 熊谷市かわまちづくりイメージ図(荒川大橋より下流側)

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

水辺利用（親水護岸、捨石）（視点1）



側帯、堤防天端、休憩スペース（視点2）



整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

水辺の散策路、休憩スペース（視点3）



多自然川づくり、自然環境学習環境整備（視点4）



整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

3-4.整備の実現方策

表6　取組内容と今後の課題、留意点など

検討中（ワークショップ等の意見を踏まえとりまとめる）

表7　熊谷市かわまちづくり計画役割分担表

	熊谷市	国土交通省
ソフト	●地域の防災活動の充実 ●堤防散策の魅力づくりの活動充実 ●公園機能を充実する民間事業者の占用の誘致 ●交通安全、防犯対策自転車の交通ルール・マナー周知活動や交通安全活動充実 ●地域交流・健康づくり、スポーツイベント活動の充実 ●川に親しむ水辺のアクティビティイベントの活動の充実 ●川の安全な利用の普及活動の充実 ●荒川及び河川敷地の豊かな自然環境の保全、創出を目指す環境学習活動の充実 ●熊谷桜堤など風景の保全、継承の活動支援 ●歴史資源を活用したまちとの連携の活動充実 ●水災害の歴史、治水遺産の情報発信の充実	●地域の防災活動の充実 ●川の安全な利用の普及活動の充実
ハード	●休憩施設（②・⑧） ・トイレ ・ベンチ ・あずまや ●体育館と堤防を繋ぐ連絡通路（⑦） ●荒川緑地再整備 ・駐車場（⑨） ・スポーツ施設・広場等の維持充実 ドッグランの整備（⑩） ●水辺利用 ・水辺の散策路（⑫） ●情報発信施設（⑪） ・各種サイン ・誘導路面標示 ●地域文化伝承施設 ・桜堤の保全（⑯） ●堤防天端 ・歩行者、自転車の通行分離表示（①） ・堤防道路の街灯整備（⑤）	●堤防整備（嵩上げ、拡幅） ●階段式護岸（⑥） ●側帯 ●坂路（堤防 川表・裏、自転車・緊急車両用）（④） ●坂路（堤防 川表・裏、バリアフリー対応）（③） ●階段（堤防 川表・裏）（③） ●水辺利用 ・親水護岸（⑬） ・捨石（⑬） ●自然学習環境 ・散策路（舗装なし）＋階段整備（⑮） ・多自然護岸＋捨石設置（⑭）

表8　熊谷市かわまちづくり計画整備工程

種別	事業者	事業内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
堤防整備	国土交通省	嵩上げ、拡幅		計画設計		工事			
階段式護岸	国土交通省	階段式護岸		計画設計		工事			
堤防側帯	国土交通省	堤防側帯		計画設計		工事			
堤防坂路	国土交通省	自動車、緊急車両用		計画設計		工事			
スロープ	国土交通省	バリアフリーのスロープ		計画設計		工事			
階段工	国土交通省	階段工		計画設計		工事			
水辺利用	国土交通省	親水護岸、捨石設置		計画設計		工事			
自然学習環境	国土交通省	捨石設置、階段工		計画設計		工事			
休息･休憩施設	熊谷市	トイレ、ベンチ、あずまや				計画設計	工事		
荒川緑地再整備	熊谷市	駐車場、ラグビー場、バーベキュー、ドッグラン				計画設計	工事		
水辺利用	熊谷市	水辺の散策路				計画設計	工事		
情報発信施設	熊谷市	各種サイン、誘導路面標示				計画設計	工事		
地域文化伝承施設	熊谷市	桜堤の保全				計画設計	工事		
堤防天端	熊谷市	歩行者･自転車の通行分離				計画設計	工事		

注）体育館と堤防天端をつなぐ連絡橋は、体育館事業とスケジュール調整の上、整備する

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

3-5.多自然川づくりに関する事項
・多自然川づくり(捨石設置、多自然護岸など)により土砂が堆積し、湿地環境が形成されることにより在来植生の生育を促し、河川が本来有している生物の生息･生育･繁殖の場の充実を図ります。
3-6.その他特筆すべき事項
・要確認

整備内容は検討中のため、変更の可能性有り

＜様式5＞

4.維持管理計画書

4-1.持続的な有効利用に関する計画
・新体育館との連携や高水敷の利活用促進に関して、「親子でマラソン大会」「未来の担い手を育成するための建設機械及び建設資材に触れようイベント」の開催を検討中です。 ・市民・行政協働のかわまち活動（案）として、下記①・②の取組を検討中です。 ①食、遊び・憩い、文化等の地域交流イベント利用の充実 （バーベキュー、ピクニック、キッチンカー、子供向けイベント、星空観察会など） ②体にも地域にも地球にも優しい移動推奨の取組 （楽しみながら徒歩や自転車による移動を推奨する使い方を学ぶ、健康づくりや自転車イベント充実の取り組み） 熊谷駅南口周辺のまちづくりとの連携（パーク＆ライド（シェアサイクル）等）（周辺住宅地の交通静穏化と地域振興の両立を目指すソフト施策の取組）
4-2.維持管理計画
・日常的な管理は熊谷市。河川占用にて整備した構造物等も熊谷市にて管理を行います。

熊谷市荒川かわまちづくり計画　想定作業スケジュール（イメージ）

資料３

時期	開催名	検討内容
R6 年 5 月 28 日	第 1 回協議会	・組織の設置　・情報の共有（背景、地域ニーズ、かわまちづくり、論点案） ・論点１（方針）、論点２（範囲）の検討　・今後の進め方について
R6 年 8 月 8 日	第 2 回協議会	・論点１（方針）、論点２（範囲）の審議 ・論点３（ゾーンと主要機能配置）、論点４（活動アイデア）の検討　・社会実験企画の検討
R6 年 12 月 17 日(本日)	第 3 回協議会	・論点３（ゾーンと主要機能配置）の審議　・論点４（活動アイデア）の検討、審議 ・かわまち申請案の検討
R7 年 3 月下旬	第 4 回協議会	・論点１～４の決定　・かわまち申請案の決定

